

目次

郡山市立美術館年報 平成 30 年度

目次

I	沿革・郡山市立美術館の目的と性格	2
II	展覧会事業	3
	1) 常設展	4
	2) 企画展	13
III	教育普及事業	33
	1) アート・トーク	33
	2) 講演会	33
	3) 美術講座	34
	4) ギャラリートーク	35
	5) ワークショップ	35
	6) ミュージアム・シアター	36
	7) ミュージアム・コンサート	36
	8) 学校との連携事業	37
	9) 対外協力	38
	10) 休館中の事業	39
	11) 図書資料・視聴覚資料	41
	12) 刊行物	41
	13) 館外での活動及び関連記事・報道	42
IV	作品収集・保存管理事業	44
	1) 新収蔵作品・美術資料一覧	44
	2) 収蔵作品貸出状況	48
	3) 収蔵作品修復状況	49
	4) 改修工事及びそれに伴う空気環境測定	51
V	利用者数	52
	1) 展覧会	52
	2) 教育普及事業	53
	3) 過去 5 年間の利用者数の推移状況	54
	4) 教育普及事業別参加者数の推移状況	54
VI	管理運営	55
	1) 関連法規	55
	2) 名簿・組織	59
	3) 建築設備概要・平面図・面積表	60
	4) 利用案内	64

I 沿革・郡山市立美術館の目的と性格

沿革

1981（昭和56）年 9 月	美術館建設懇談会設置
1982（昭和57）年 2 月	美術館基本構想懇話会設置
1983（昭和58）年 3 月	「郡山市美術館基本構想」答申
1985（昭和60）年12月	美術品取得基金条例公布・施行
1987（昭和62）年 4 月	美術館建設準備室設置
1987（昭和62）年 6 月	郡山市立美術館建設検討委員会設置
1988（昭和63）年 1 月	美術館建設場所決定
1989（平成元）年11月	美術館建設設計競技審査会開催
1990（平成2）年 1 月	収蔵美術品特別展示開催（於：郡山市民文化センター） （株）TAK建設・都市計画研究所の設計案当選（同社に設計を委託）
1990（平成2）年 3 月	美術館建設基本設計完了
1990（平成2）年10月	美術館建設実施設計完了
1990（平成2）年12月	美術館建設工事着工
1992（平成4）年 6 月	美術館建設本体工事完了
1992（平成4）年 7 月	郡山市立美術館条例施行 美術館建設準備室を解散して美術館としてスタート
1992（平成4）年11月	美術館建設外構工事完了 11月21日 美術館開館
2017（平成29）年10月 1 日	改修工事のため休館
2018（平成30）年 7 月 7 日	再オープン

郡山市立美術館の目的と性格

郡山市立美術館は、「市民がすぐれた美術作品に接することにより美術文化に対する深い理解と親しみを持ち、より豊かな市民生活を享受できる場とするとともに、郷土ゆかりの美術作品、国際的視野と高い水準をもった美術作品及び美術資料を収集・保存・展示して市民文化の向上を図る」という構想のもとに建設が計画された。

作品の収集は、①イギリス近代美術、②日本近代美術、③郷土ゆかりの美術、④本(版)の美術という柱をもっておこなわれている。特にイギリス近代美術について、体系的に収集したコレクションはこれまでの国内の美術館においても例を見ないもので、内外の大きな評価を得ている。

今後についても、この特色あるコレクションの一層の充実を図りつつ、調査研究、展示、教育普及など多彩な活動をおこなっていく。

また、郡山市街から安達太良山までを一望できる緑豊かな丘陵地の自然を背景とした恵まれた立地条件を十分に生かし、多くの方々にやすらぎを与える場とするために、整備していく。

Ⅱ 展覧会事業

1) 常設展 (平成30年7月6日まで休館)

平成30年度 第1期 平成30年7月7日～10月8日
特別展示 郡山市立美術館名品選

平成30年度 第2期 平成30年10月11日～平成31年1月20日
1. 自然との対話 2. 近代洋画の眼 3. 戦後・画家の試み
4-①『HANGA』特集 4-②佐藤潤四郎と仏足跡

平成30年度 第3期 平成31年1月23日～4月21日
1. 18-19世紀イギリス絵画 2. 日本の油彩画 3. 佐藤昭一とその時代
4-①吉田博・ふじを・穂高 4-②佐藤潤四郎とガラスの神様

2) 企画展 (平成30年7月6日まで休館)

平成30年7月7日～9月9日
ターナー 風景の詩

平成30年9月22日～12月24日
〈眼の人〉今泉亀撒のコレクション

平成31年1月11日～3月31日
ブリュッゲル展 画家一族150年の系譜

1) 常設展

平成30年度 第1期 平成30年7月7日～10月8日

特別展示 郡山市立美術館名品選

郡山市立美術館のコレクションは、国内でも珍しいイギリス近代美術、明治～大正を中心とした日本近代美術、郡山ゆかりの美術、本(版)の美術という4つの柱で構成

されています。今回の常設展では、再オープンを記念して郡山市立美術館を象徴する名品を選びすぐってご覧いただきます。

展示室1 日英の近代美術 —風景画と肖像画—

作者名	作品名	制作年	技法・材質
トマス・ゲインズボロ	荷馬車のいる丘陵地帯の森の風景	1745-46頃	油彩・キャンバス
ポール・サンドビー	ウォーリック城シーザー塔	1778-82	水彩、インク・紙
トマス・ガーティン	エクセター大聖堂	1798頃	水彩・紙
ジョン・ヴァーレー	ポントスリット・アクアダクト	1826	水彩・紙
ジョン・セル・コットマン	ルーアン、ラ・ピュセル広場のブルトルルド館	1823	水彩・紙
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス
リチャード・ウィルソン	キケロの別荘		油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
ウィリアム・ホガース	サミュエル・マーティンの肖像	1758-60頃	油彩・キャンバス
トマス・ゲインズボロ	オース夫人の肖像	1767	油彩・キャンバス
チャールズ・ワーグマン	西洋紳士スケッチの図	1870代	油彩・スケッチボード
サー・アルフレッド・イースト	雨後の傘干し	1889頃	水彩・紙
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	宮島の街並	1890	水彩・紙
アルフレッド・ウィリアム・パーソンズ	箱根の秋		水彩・紙
大下藤次郎	蓮池		水彩・紙
三宅克己	箱根		水彩・紙
吉田 博	風景		水彩・紙
亀井竹二郎	〈石版『懐古東海道五十三驛真景』油彩原画〉より6点	1877-78(明治10-11)	油彩・紙
	川崎驛 六合川眺望 大磯驛 海濱晴景 興津驛 清見寺三保松原遠望		
	島田驛 二川驛 岩谷観音 岡崎驛 矢矧橋		
高橋由一	風景(鳥海山)	1880年代	油彩・キャンバス
諫山麗吉	甲州猿橋		油彩・キャンバス
山本芳翠	園田銚像	1885(明治18)	油彩・キャンバス
浅井 忠	収穫	1893(明治26)頃	油彩・紙、板

展示室2 19世紀末以降の日英美術 —ロマン主義的作品を中心に—

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ウィリアム・ブレイク	眠るダンカン王に近づくマクベス夫人		水彩、インク・紙
フォード・マドックス・ブラウン	牢獄のジャコボ・フォスカリ	1869	チョーク・紙
ダンテ・ガブリエル・ロセッティ	マドンナ・ビエトラ	1874	パステル・紙
オーブリー・ビアズリー	おまえの口に口づけしたよ、ヨカーナ	1893	ラインブロック・紙
サー・エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ	アヴァロンにおけるアーサー王の眠り	1894	グワッシュ・紙
ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス	フローラ	1914頃	油彩・キャンバス
サー・エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンバス
サー・フランク・ブランギン	花園	1899頃	油彩・板
原 撫松	霧の広場	1906(明治39)	油彩・キャンバス
栗原忠二	ヴェニス風景	1921(大正10)	油彩・板
小林万吾	朽葉の袖	1907(明治40)	油彩・キャンバス
中川八郎	おぼろ月夜		水彩・紙
岸田劉生	照子像	1920(大正9)	水彩・紙
中村 彝	朝顔	1923(大正12)	油彩・キャンバス
藤島武二	がくの花	1901(明治34)	油彩・キャンバス
白瀧幾之助	編物をする少女	1895(明治28)	油彩・キャンバス
古賀春江	蝸牛のいる田舎	1928(昭和13)	油彩・キャンバス
安井曾太郎	初秋の北京	1944(昭和19)	油彩・キャンバス

展示室3 1950年代以降の日英美術と郡山出身の画家たち

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ベン・ニコルソン	ワン・イン・ワン	1978	ミクストメディア・メゾナイト
バーバラ・ヘップワース	石柱(バヴァース)	1953	油彩・パネル
バーバラ・ヘップワース	ふたつのフォルム、青	1958	油彩・ボード
ウィリアム・ヘイター	舟について	1967	エングレーヴィング・紙
ウィリアム・ヘイター	緑陰	1963	エッチング、スクレイパー・紙
リチャード・ハミルトン	フラワー・ピース B、クレヨン習作	1976	リトグラフ・紙
デイヴィッド・ホックニー	『六つのグリム童話(C版)』	1969-70	エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙/ポートフォリオ
パトリック・コールフィールド	『ジュール・ラフォルグの詩(A版)』	1973	シルクスクリーン・紙/ポートフォリオ
杉全 直	ふたりの肖像	1949(昭和24)	油彩・キャンバス
村井正誠	いそぐ人	1956(昭和31)	油彩・キャンバス
難波田龍起	建物の構成	1954(昭和29)	油彩・キャンバス
土橋 醇	イル・ド・フランス	1956(昭和31)	油彩・キャンバス
吉井 忠	敗れたる風景	1946(昭和21)	油彩・キャンバス 吉井忠氏寄贈
安藤重春	雨の華	1979(昭和54)	岩絵具・紙
鎌田正蔵	ロボット家族(B)	1982(昭和57)	アクリル・キャンバス
佐藤昭一	シリーズ透過02	2002(平成14)	アクリル・キャンバス

展示室4-① 日英の版芸術と出版の世界

作者名	作品名	制作年	技法・材質
サー・エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ(画)	W.モリス『世界の果ての泉』	1896	木口木版/本
ジョン・コンスタブル	真昼	1830	メゾチント・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ラルエット坊や	1859	エッチング・紙
トマス・ビューイック	野生の牡牛	1789	木口木版・紙
ディエル兄弟(刻)	W.ワーズワース『詩集』	1859	木口木版/本
ローレンス・ハウスマン(画)	C.ロセッティ『ゴブリンマーケット』	1893	ラインブロック/本
リュシアン・ピサロ(画)	C.ペロー『眠れる美女と赤ずきん』	1899	木口木版/本
ウォルター・クレイン(画)	『クイーン・サマーあるいは百合と薔薇の騎馬試合』	1891	石版/本
ウィリアム・ブラウン・マクドゥーガル(画)	J.キーツ『イザベラ(バジルの壺)』	1898	木口木版/本
ロバート・ギビングス(画・刻)	L.ボウイス『生命の栄光』	1934	木口木版/本
エリック・ギル	降架	1931	木口木版・紙
山本芳翠(画)、合田清(刻)	磐梯山噴火真図	1888(明治21)	木口木版・紙
中川耕山	岩代国耶麻郡磐梯山噴火実況図	1888(明治21)	石版・紙 特別出品
亜欧堂田善(挿画)	『和蘭内景 医範提綱 付内象銅版図(宇田川玄真編)』	1808(文化5)	銅版/本
岡村政子(画)	『梅蕾餘薫』(原著:スコット)	1887(明治20)	石版/本
岡村政子(推定)	『雙鸞春話』(原著:ピコンフィールド)	1887(明治20)	石版/本
大蔵省印刷局	『波間の錦』	1883(明治16)	石版/本
大蔵省印刷局	『朝陽閣鑑賞錦繍帖 卷上』	1883(明治16)	木版/本
大蔵省印刷局	『朝陽閣鑑賞錦繍帖 卷下』	1883(明治16)	木版/本
大蔵省印刷局	『朝陽閣鑑賞』	1883(明治16)	石版/本
大蔵省印刷局	『国華余芳 正倉院御物』	1880(明治13)	石版/本
大蔵省印刷局	『国華余芳 伊勢神宮内外神宝之部』	1880(明治13)	石版/本
渡辺忠久	美人花見之図	1888(明治21)	石版、手彩色・紙
北沢楽天	やまとひめとブリタニヤ	1902(明治35)	石版・紙
和田英作	こだま	1904(明治37)	石版・紙
長谷川潔	シャトー・アルヌーの寺院	1932(昭和7)	メゾチント・紙
駒井哲郎	鳥と果実(小)	1959(昭和34)	エッチング、サンドペーパーによるエッチング・紙
斎藤 清	珊瑚	1955(昭和30)	木版・紙
恩地孝四郎	Lyrique No.2 楽曲によせる抒情 ラヴェル"道化師の朝歌"	1933(昭和8)	木版・紙
川上澄生	新装の九段坂	1929(昭和4)	木版・紙
岡村政子/酒井鈴子	忠臣義士	1891(明治24)	石版・紙

展示室4-② クリストファー・ドレッサーと佐藤潤四郎

作者名	作品名	制作年	技法・材質
佐藤潤四郎	鍛鉄吹込花器(顔)	1986(昭和61)	ガラス、鉄／鍛鉄吹込
佐藤潤四郎	クリスタル花器		ガラス／宙吹
佐藤潤四郎	オリンピックブルー硝子皿	1941(昭和16)頃	ガラス／宙吹 石井謙治氏寄贈
佐藤潤四郎	花器・何をしようか	1986(昭和61)	ガラス／宙吹
佐藤潤四郎	花器・穴があいてちょっと考えた	1980-82(昭和55-57)頃	ガラス／宙吹・カット
佐藤潤四郎	ブルー花器		ガラス／宙吹
佐藤潤四郎	ルーマー杯・なみなみのワインを		ガラス／宙吹・グラヴェール、プランツ
佐藤潤四郎	オブジェ・羊車	1980-82(昭和55-57)頃	ガラス／宙吹、プランツ
佐藤潤四郎	大杯・ワインを造る		ガラス／宙吹・グラヴェール、プランツ 佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	タンブラー		ガラス／型吹ほか 佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	デザイン/カガミクリスタル制作 [スーパーニッカ]手吹きボトル	1962(昭和37)頃	ガラス／宙吹 川崎清氏寄贈
佐藤潤四郎	魚(ブルー)	1973-76(昭和48-51)頃	ガラス／宙吹・カレット封入
佐藤潤四郎	魚(オレンジ)	1973-76(昭和48-51)頃	ガラス／宙吹・カレット封入
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺玄奘三蔵院舍利器(控)No.1	1980(昭和55)	ガラス／宙吹・カット
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺玄奘三蔵院舍利器カバー(控)No.1	1984(昭和59)	ガラス／宙吹・プランツ、雲母封入
クリストファー・ドレッサー	銀製ティー・セット	1885	銀、象牙、金メッキ
クリストファー・ドレッサー	クラレット・ジャグ(ぶどう酒用容器)		ガラス、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	スプーン・ウォーマー		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック(楕円型)		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック(青海波)		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック(ポイントアーチ型)	1881	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	花瓶(赤色クルーサ・ガラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	プロペラ瓶(緑色クルーサ・ガラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	緑釉サラダボウル(サーバー付)	1879-82	陶器、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	金彩筒型三足花器		磁器
クリストファー・ドレッサー	色絵金彩竹梅文水差		磁器
クリストファー・ドレッサー	染付鳥波濤文把手付鉢		磁器
クリストファー・ドレッサー	ナイフとフォークのセット		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	色絵椿文龍花瓶(一対)	1886	陶器
クリストファー・ドレッサー	緑釉龍波濤文水差	1879-82頃	陶器

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質
●1階			
三木宗策	威容抱慈(坂上田村麻呂像)	1924(大正13)	木彫
笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント
アントニー・ゴームリー	量子雲XXIII	2000	ステンレス・スチール棒
アントニー・ゴームリー	領域XIII	2000	ステンレス・スチール棒
●2階展示ロビー			
アリストテード・マイヨール	もの思い	1930	ブロンズ 大高善二郎氏寄贈
柳原義達	黒人の女	1956(昭和31)	ブロンズ
細川宗英	道元	1988(昭和63)	ブロンズ
堀内正和	顔	1955(昭和30)	鉄、セメント
●前庭			
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ



第1期 常設展示室1

平成30年度 第2期 平成30年10月11日～平成31年1月20日

展示室1 自然との対話

18世紀末から19世紀前半にかけて、イギリスでは風景画が大きく発展しました。イタリアやフランスへの海外旅行「グランド・ツアー」の流行などを経て、イギリス国内の自然に対する関心が高まると、画家たちは自分自身の眼でイギリスの自然の景観を見出し、風景画として描くようになりました。産業革命によって画材の技術改良、

量産がすすむと、移ろいやすい自然の表情を描き留めるのに水彩画も好んで描かれました。

やがて、19世紀末に「自然に忠実であれ」と提唱した美術批評家・思想家のジョン・ラスキンの自然観は、当時のイギリス画壇にも大きく影響を及ぼすことになりました。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
アレクサンダー・カズンズ	川岸に神殿のある風景		水彩・紙
トマス・ゲインズボロ	荷馬車のいる丘陵地帯の森の風景	1745-46頃	油彩・キャンバス
ジョン・マーティン	フレッシュウォーター・ベイ	1815頃	油彩・キャンバス
ジェームズ・ウォード	アドニス	1823-4	リトグラフ・紙
ジョン・セル・コットマン	フェカンのロマネスク遺跡		鉛筆・紙
ジョン・クローム	ヘレドンの眺め	1807頃	油彩・キャンバス
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス
ピーター・デ・ウィント	ウィットビー		水彩・紙
トマス・マイルズ・リチャードソン・ジュニア	コンウェイ城の日没	1855	水彩・紙
デイヴィッド・コックス	川辺の騎士と人物	1850	水彩、鉛筆、チョーク・紙
ジョン・ラスキン	オーヴェルニュの丘		鉛筆、ホワイトボディカラー・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	早朝	1878	リトチント・紙
アルバート・グッドウィン	エンゲルベルク		ペン、水彩・紙 佐藤克也氏寄贈
サー・エドワード・コラー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンバス
ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス	フローラ		油彩・キャンバス
サー・エドワード・コラー・バーン＝ジョーンズ	『フラワー・ブック』より	1905	リトグラフ・紙／ポートフォリオ
サー・ジョシュア・レイノルズ	キティ・フィッシャーの肖像習作	1760-62頃	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
トマス・ゲインズボロ	オース夫人の肖像	1767	油彩・キャンバス
ウィリアム・ブレイク	ヴァージルの『田園詩』第1巻	1821刊	木口木版、ラインエングレーヴィング／本
サミュエル・パーマー	ヴァージルの『田園詩』	1883	エッチング／本

展示室2 近代洋画の眼

明治時代、日本は西洋文明を受け入れ、近代化を進めました。絵画の世界においても、「日本画」と呼ばれるこれまでの絵画とは大きく異なる、西洋の表現様式(科学的な遠近法、明暗法など)、画材(油絵の具、キャンバスなど)を用いた「洋画」が生み出されました。

洋画の誕生は、単に西洋風の絵画の成立ばかりではな

く、日本人の外界の認識や視覚にも変化をもたらしました。近代洋画史に偉大な足跡を残した安井曾太郎は、自然のもつ構造的な力を線描によって抽出させるなど、「安井様式」と呼ばれる独自の画風を生み出しました。

ここでは、洋画家たちの「眼」とおして、日本近代における世界観を探ります。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
諫山麗吉	神戸付近の風景		油彩・キャンバス
五百城文哉	真如堂図	1897(明治30)	油彩・紙
黒田清輝	東久世伯爵肖像エスキース	1894(明治27)	油彩・キャンバス
伊藤快彦	子供像		油彩・キャンバス
有島生馬	少女	1908(明治41)	油彩・キャンバス
吉田 博	積み藁のある風景		水彩・紙
栗原忠二	風景(ヨーロッパ風景)		油彩・キャンバス
南 薫造	雪の日の東京	1933(昭和8)	油彩・スケッチボード
小山敬三	裸婦立像	1920-22(大正9-11)頃	油彩・キャンバス
伊原宇三郎	靴職人	1925-9(大正14-昭和4)頃	油彩・キャンバス
安井曾太郎	初秋の北京	1944(昭和19)	油彩・キャンバス
安井曾太郎	バルコニーより		水彩、鉛筆・紙
安井曾太郎	公園風景	1928(昭和3)	水彩・紙
梅原龍三郎	静物		油彩・キャンバス
棟方志功	愛染菩薩図(「雨ニモ負ケズ」四韻)		墨、淡彩・紙／4点組
松本竣介	窓	1935(昭和10)頃	油彩・合板に紙 武田光司コレクション寄贈
内田 巖	佃風景	1928(昭和3)	油彩・キャンバス

作者名	作品名	制作年	技法・材質
内田 巖	首飾りの女	1937(昭和12)頃	油彩・キャンバス
木村莊八	祖母の顔	1916(大正5)	油彩・板
河野通勢	ホレブの岩		油彩・板
中川一政	冬の郊外(葱畑)	1918(大正7)頃	油彩・キャンバス
小出栢重	自画像	1918(大正7)	油彩・キャンバス
恩地孝四郎	黒い机	1922(大正11)	油彩・キャンバス
片多徳郎	残雪の庭	1925(大正14)	油彩・キャンバス

展示室3 戦後・画家の試み

第二次世界大戦後、社会構造や価値観の大きな変革の中で、画家たちはさまざまな表現に挑み始めました。不条理な戦争への怒りや深刻な社会状況をテーマにした作品が生まれる一方、1950年代にはアメリカやヨーロッパで起こった自由な形体と色彩による抽象表現やアンフォ

ルメルなどの新しい絵画が盛んになります。多くの画家たちは、自分の思い描く世界を自由に表現しその可能性を模索していきました。

今回は、戦後から現在にいたる多様な美術作品を紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
今井俊満	コンポジション23	1959(昭和34)	油彩・キャンバス
堂本尚郎	1962-18(二元的なアンサンブル)	1962(昭和37)	油彩・キャンバス
田淵安一	ラ・セーヴ(樹の精)	1957(昭和32)	油彩・キャンバス
土橋 醇	タルヌ峡谷のコンポジション	1957(昭和32)	油彩・キャンバス
佐藤昭一	コンポジション	1959(昭和34)	油彩・キャンバス
菅井 汲	黒	1959(昭和34)	油彩・キャンバス
瑛 九	構図	1957(昭和32)	エアブラシ・合板
野地正記	宇宙人の争い	1960代-80	油彩・板
鎌田正蔵	祝日(B)	1966(昭和41)	油彩・キャンバス
深沢軍治	庭先植物生態学(B)	1984(昭和59)	油彩・キャンバス
勝呂 忠	浮遊する三本の線	1989(平成元)	油彩・キャンバス
ウィリアム・スコット	静物II	1957	水彩、コラージュ・紙
ヴィクター・パスモア	ワインレッド(version1)	1964	レリーフペインティング・パネル
ベン・ニコルソン	水差しと楕円形	1973	オイルウォッシュ、鉛筆、紙、木製ボード
ウィリアム・スコット	水差しの詩No.14	1980	油彩・キャンバス

展示室4-① 『HANGA』特集

世界に誇る浮世絵版画は、絵師、彫師、摺師の共同作業によって作品が生まれ出されました。こうした木版画の伝統に加え、西洋からもたらされた銅版画や石版画などの多彩な技法も含め、作者自らが描いた下絵を版にして摺るという自画自刻自摺を掲げた創作版画運動が大正から昭和戦前期に大きな動きとなって、日本の近代版画の

隆盛期を迎えました。

またこの時代には、版画に関する情報等とともに作品が掲載された版画誌が次々と刊行され、それらは作家にとって重要な発表の場となりました。今回はそのうちのひとつ『HANGA』を特集します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
川上澄生他	『HANGA』第壹輯	1924(大正13)	紙/ポートフォリオ
石井鶴三他	『HANGA』第二輯	1924(大正13)	紙/ポートフォリオ
萬鉄五郎他	『HANGA』第参輯	1924(大正13)	紙/ポートフォリオ
川崎巨泉他	『HANGA』第四輯	1924(大正13)	紙/ポートフォリオ
恩地孝四郎他	『HANGA』第五輯	1925(大正14)	紙/ポートフォリオ
旭 正秀他	『HANGA』第六輯	1925(大正14)	紙/ポートフォリオ
平塚運一他	『HANGA』第七輯	1925(大正14)	紙/ポートフォリオ
川西 英他	『HANGA』第八輯	1925(大正14)	紙/ポートフォリオ
山口 進他	『HANGA』第九、拾輯	1926(大正15)	紙/ポートフォリオ
深沢索一他	『HANGA』第十一輯	1926(大正15)	紙/ポートフォリオ
永瀬義郎他	『HANGA』第十二輯	1927(昭和2)	紙/ポートフォリオ

(『HANGA』所収以外の作品から)

南 薫造	浦の漁灯	1913(大正2)	木版・紙
谷中安規	鍵(詩画集の8)	1933(昭和8)	木版・紙
有島生馬	ハノヴィン祭(ハロウィン)	1936(昭和11)	エッチング・紙
安井曾太郎	少女と大このはづく	1939(昭和14)	リトグラフ・紙

展示室4-② 佐藤潤四郎と仏足跡

郡山市出身のガラス工芸家・佐藤潤四郎(1907～1988)の業績として挙げられるのが、白鳳文化を代表する名刹・薬師寺の伽藍復興事業における舎利器の制作です。潤四郎はこの仕事をおし、薬師寺の大講堂内に安置されている「仏足石」(国宝)に惹かれました。「仏足石」とは釈迦(シャカ)の足跡、すなわち「仏足跡」を刻んだ石のこ

とで、足形の内側には輪宝や卍、さらには魚などの文様が施されています。潤四郎は、これらをガラスや陶器作品の文様として用いるとともに、絵画作品でも多くの仏足跡を描いています。晩年に多い魚の造形は、仏足跡の文様からの発想と言われています。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
佐藤潤四郎	自画像と仏足跡	1984(昭和59)	墨・紙	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	仏足跡の中の窯		水彩・紙	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	仏足跡・ガラス工具曼荼羅		水彩・紙	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	ステンドグラス・仏足跡		ガラス、鉄	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺西塔舎利器(試作)	1978(昭和53)	ガラス/宙吹き・グラヴェール	
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺玄奘三蔵院舎利器(控)No.1	1980(昭和55)	ガラス/宙吹き・カット	
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺玄奘三蔵院舎利器カバー(控)No.1	1984(昭和59)	ガラス/宙吹き・プランツ、雲母封入	
佐藤潤四郎	花器・仏足跡ロータス		ガラス/宙吹き・サンドブラスト	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	オブジェ・仏足跡	1984(昭和59)	放射能遮蔽ガラス/サンドブラスト	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	オブジェ・仏足跡ロータス	1984(昭和59)	ガラス/エッチング、サンドブラスト	
佐藤潤四郎	魚拓		ガラス/宙吹き	
佐藤潤四郎	魚拓		ガラス/宙吹き・カレット封入	
佐藤潤四郎	水指(魚)		ガラス/型吹き	
佐藤潤四郎	陶器で仏足跡(顔)		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	蓮の花と押し葉と仏足跡		水彩、墨、コラージュ・紙	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	ヨットを浮かべた仏足跡		水彩・紙	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	仏足跡に隠れるガラスの神様		水彩、墨・紙	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	人面仏足跡1		墨・紙	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	人面仏足跡2		水彩、墨・紙	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	陶板・仏足跡1		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	陶板・仏足跡2		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	陶板・仏足跡、五輪塔		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	仏足跡と2人のガラスの神様		水彩、木炭・紙	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	仏足跡と3人のガラスの神様		水彩・紙	佐藤久枝氏寄贈

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質
●1階			
笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント
アントニー・ゴームリー	量子雲XXIII	2000	ステンレス・スチール棒
アントニー・ゴームリー	領域XIII	2000	ステンレス・スチール棒
●2階展示ロビー			
舟越保武	少女	1956(昭和31)	砂岩
佐藤忠良	群馬の人	1952(昭和27)	ブロンズ
高田博厚	アラン像	1932(昭和7)	ブロンズ
木内 克	女の顔	1965(昭和40)	石膏、顔料 和田敏文氏寄贈
●前庭			
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ



第2期 常設展示室4-2

展示室1 18-19世紀イギリス絵画

18世紀から19世紀にかけて、いち早く産業革命を成し遂げたイギリスは、美術の分野でもこの時に黄金時代を迎えます。肖像画は、18世紀後半に入りホガースやゲインズボロ、レイノルズの出現によって確立されました。また、それまでの絵画のジャンルの中で最も低いものに入るとされてきた風景画は、画家たちが自然を見直すことによってイギリス国内で発展していきます。19世紀前

半に現れた二人の偉大な風景画家、ターナーとコンスタブル。彼らの作品はバルビゾン派や印象派にまで波及しています。さらに19世紀中頃、ロセッティらを中心にラファエル前派同盟と称した画家たちが美術運動を起こし、イギリスのみならず周辺諸国にも影響を与えました。今回は、幅広い魅力を持つ18-19世紀イギリス絵画をご紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
トマス・ゲインズボロ	荷馬車のいる丘陵地帯の森の風景	1745-46頃	油彩・キャンバス
ジョン・クローム	ヘレスドンの眺め	1807頃	油彩・キャンバス
ジョン・セル・コットマン	ルーアン、ラ・ピュセル広場のブルトルルド館	1823	水彩・紙
ジョン・マーティン	フレッシュウォーター・ベイ	1815頃	油彩・キャンバス
トマス・ガーティン	エクセター大聖堂	1798頃	水彩・紙
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	サン・ゴタル峠の下り道	1848	水彩・紙
サー・トマス・ローレンス	ラビー・ウィリアムズ牧師	1790年代初頭	油彩・キャンバス
ウィリアム・ホガース	サミュエル・マーティンの肖像	1758-60頃	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	キティ・フィッシャーの肖像習作	1760-62頃	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
トマス・ゲインズボロ	オース夫人の肖像	1767	油彩・キャンバス
アルバート・ジョゼフ・ムーア	黄色いマーガレット	1881	油彩・キャンバス
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンバス
ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス	フローラ	1914頃	油彩・キャンバス
ダンテ・ガブリエル・ロセッティ	マドンナ・ピエトラ	1874	パステル・紙

展示室2 日本の油彩画

油彩画は、数百年にわたり多くの画家によって描かれ、今日に至るまで数々の変遷を重ねてきました。絵具の混ぜ方や重ね方、油の配合、筆致などを変えることで表現は無限に広がります。

日本で油彩画が本格的に普及し始めたのは明治時代のことでした。それまでの日本の絵画とはまったく異なる、遠近法や明暗法による迫真的な表現は、当時の日本人画家たちに衝撃を与えます。1860年代中頃、高橋由一、五

姓田義松は、当時横浜を拠点にしていたイギリス人報道画家チャールズ・ワグマンから油彩技法を学びます。1896年には東京美術学校の中に西洋画科が設置され、黒田清輝、藤島武二、和田英作など以後の日本の美術界をけん引する画家たちが指導にあたりました。こうして歩み出した日本の油彩画は、時を経て独自の画境に到達していきます。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
百武兼行	風車のある風景	1877(明治10)	油彩・キャンバス
五姓田義松	婦人像	1871(明治4)頃	油彩・キャンバス
高橋由一	風景(鳥海山)	1880代	油彩・キャンバス
諫山麗吉	甲州猿橋		油彩・キャンバス
浅井 忠	収穫	1893(明治26)	油彩・紙、板
広瀬孝次	田園景色	1890(明治23)	油彩・キャンバス
山本芳翠	園田銚像	1885(明治18)	油彩・キャンバス
黒田清輝	東久世伯肖像エスキース	1894(明治27)	油彩・キャンバス
原 撫松	婦人像	1906-07(明治39-40)頃	油彩・キャンバス
高橋勝蔵	桃と葡萄	1909(明治42)頃	油彩・キャンバス
伊藤快彦	夏の静物		油彩・板
野崎華年	富士	1907(明治40)	油彩・キャンバス
白瀧幾之助	農婦と牛のいる風景		油彩・キャンバス
武内鶴之助	虹(英国牧場風景)		油彩・キャンバスボード
和田英作	上総風景	1897(明治30)	油彩・キャンバス
山本森之助	冬の磐梯山	1918(大正7)頃	油彩・キャンバス
高木背水	紅海の夕焼		油彩・キャンバス
栗原忠二	ヴェニス風景	1921(大正10)	油彩・板
岸田劉生	銀座と数寄屋橋畔	1911(明治44)頃	油彩・板

作者名	作品名	制作年	技法・材質
中村 彝	朝顔	1923(大正12)	油彩・キャンバス
古賀春江	蝸牛のいる田舎	1928(昭和3)	油彩・キャンバス
藤島武二	「耕到天」習作	1936(昭和11)	油彩・キャンバス
山中春雄	湖		油彩・キャンバス 武田光司コレクション寄贈

展示室3 佐藤昭一とその時代

1950年代、日本は迅速な復興と経済成長をとげます。しかし、その陰には様々な社会問題を孕んでいました。そこに眼を向けた一部の前衛系の画家たちは美術によってそのひずみを糾弾します。その動きは地方へも広がり、郡山は全国でも屈指の活動拠点となったのです。その中

心には佐藤昭一(1927-2018)がいました。

その佐藤昭一は昨年91歳で逝去しました。郡山の戦後の美術文化活動をけん引してきた佐藤の業績を偲び、今回の展示をもって郡山から全国へメッセージを発信した1950年代をとりあげ、振り返りたいと思います。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
佐藤昭一	静物	1944(昭和19)頃	油彩・紙 佐藤昭一氏寄贈
佐藤昭一	マフラーの自画像	1945(昭和20)頃	油彩・キャンバス 佐藤昭一氏寄贈
佐藤昭一	自分と石膏とマンドリンと壺	1948(昭和23)	油彩・キャンバス 佐藤昭一氏寄贈
佐藤昭一	食事	1952(昭和27)	油彩・板 佐藤昭一氏寄贈
佐藤昭一	夜の灯A	1956(昭和31)	油彩・キャンバス 佐藤昭一氏寄贈
佐藤昭一	廃坑	1956(昭和31)	油彩・キャンバス 佐藤昭一氏寄贈
鎌田正藏	製塩工場・小名浜	1947(昭和22)	油彩・キャンバス 鎌田正藏氏寄贈
鎌田正藏	製塩工場	1947(昭和22)	油彩・キャンバス 鎌田正藏氏寄贈
芳賀忠行	虚構の風景-城	1974(昭和49)	油彩・キャンバス
中村 宏	鳥	1956(昭和31)	水彩、墨、鉛筆、インク・紙
池田龍雄	化け物の系譜シリーズ『像』	1956(昭和31)	インク、コンテ・紙
池田龍雄	禽獣記シリーズ『めん鳥』	1957(昭和32)	インク、コンテ・紙
山下菊二	顔の中の顔	1963(昭和38)	油彩、コラージュ・キャンバス
尾藤 豊	川口鋳物	1954(昭和29)	油彩・キャンバス
高山良策	漁夫	1958(昭和33)	油彩・キャンバス
石井茂雄	戒厳状態 I -暴力シリーズより-	1956(昭和31)	油彩・キャンバス
佐藤昭一	シリーズ人間88	1988(昭和63)	アクリル・キャンバス
佐藤昭一	シリーズ透過02	2002(平成14)	アクリル・キャンバス

展示室4-① 吉田博・ふじを・穂高

吉田博(1876-1950)の家系は画家一家として知られています。風景画の第一人者として活躍した博は、福岡県久留米市に生まれました。大正後期からは木版画に積極的に取り組み、洋画の表現を版画に融合させました。湿潤な日本の風景をとらえた博の作品は、ダイアナ妃や精神分析学者フロイトなど世界中の人々を魅了し続けています。

博の妻である吉田ふじを(1887-1987)は、16歳のときに

博とともにアメリカへ渡りました。シカゴ、ボストンなど各地で水彩画の展覧会を開催し、好評を得ました。風景画をはじめ、日常の情景や花などをみずみずしい筆致で描きました。

博、ふじをの次男として生まれた吉田穂高(1926-1995)は、幻想的な風景や静寂に包まれた建物のある風景を得意としました。シルクスクリーンや写真製版を併用した木版画により、独自の版画表現を生み出しました。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
吉田 博	上野、東照宮	1894(明治27)	鉛筆・紙
吉田 博	山村風景	1896(明治29)	鉛筆、淡彩・紙
吉田 博	檜原下川をつなさんの馬	1908(明治41)	水彩・紙
吉田 博	『瀬戸内写生旅行』より「帰帆」	1911(明治44)頃	画帖(水彩・紙)
吉田 博	『琉球』より「石灰製造所」	1912(明治45)	画帖(水彩、パステル・紙)
吉田 博	武州飯能町、入間川辺	1894(明治27)-1899(明治32)	鉛筆、淡彩・紙
吉田 博	花のある風景	1894(明治27)以前か	水彩・紙
吉田 博	信州風景		鉛筆、淡彩・紙
吉田 博	せとないかい高浜港	1928(昭和3)	木版・紙
吉田ふじを	フロリダ	1906(明治39)	水彩・紙
吉田ふじを	土間	1906(明治39)	水彩・紙
吉田ふじを	レニヤ山		水彩・紙 (有)ヒノギヤラリー寄贈
吉田穂高	野宴	1959(昭和34)	木版・紙
吉田穂高	昼の国々	1966(昭和41)	木版、亜鉛凸版・紙
吉田穂高	ミニ・ランドスケープス	1972(昭和47)	木版、亜鉛凸版・紙

作者名	作品名	制作年	技法・材質
吉田穂高	私のコレクションより－白い家、N	1979(昭和54)	木版・紙
吉田穂高	私のコレクションより－坂道の家、P.M.	1982(昭和57)	木版、重鉛凸版・紙

展示室4－② 佐藤潤四郎とガラスの神様

郡山市出身のガラス工芸作家、佐藤潤四郎が創り出したキャラクター「ガラスの神様」。宙を舞い、戯れながら、溶けたガラスの玉を吹きざおの先に巻き取っては息を吹き込んでいます。

ガラスの神様とは、潤四郎のデザインに実際の形を与

えるガラス職人たちの化身であるのと同時に、潤四郎の職人たちへの深い感謝の気持ちのあらわれでもあるのでしよう。

潤四郎のガラスの神様たちが、皆様を清らかなガラスの世界へご案内します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
佐藤潤四郎	ガラスで作ろう		水彩・紙
佐藤潤四郎	スタンドグラス・仏足跡		ガラス、鉄
佐藤潤四郎	窯場の神々1		水彩、墨・紙
佐藤潤四郎	窯場の神々2		水彩、墨・紙
佐藤潤四郎	窯場の神々3		水彩、墨・紙
佐藤潤四郎	花器・馬車に乗るガラスの神様	1973-76(昭和48-51)頃	ガラス/宙吹・サンドブラスト (株)ノリタケクリスタル寄贈
佐藤潤四郎	植物文一輪挿し		ガラス/宙吹・グラヴェール
佐藤潤四郎	花器・アダムとイヴ		ガラス/宙吹・サンドブラスト
佐藤潤四郎	瓶・ガラスの神様		ガラス/宙吹・グラヴェール、プランツ
佐藤潤四郎	植物文瓶		ガラス/宙吹・グラヴェール
佐藤潤四郎	大杯・ガラスを吹く人	1986(昭和61)	ガラス/宙吹・グラヴェール、プランツ 佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	タンブラー		ガラス/型吹・グラヴェール等(6点)
佐藤潤四郎	大杯・ワインを造る		ガラス/宙吹・グラヴェール、プランツ 佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	竹に雀文ワイングラス		ガラス/宙吹・グラヴェール、プランツ 佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	葡萄文ワイングラス		ガラス/宙吹・グラヴェール 佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	ルーマー杯・なみなみのワインを		ガラス/宙吹・グラヴェール、プランツ
佐藤潤四郎	トリオ・ザ・ガラスの神様		水彩、墨・紙 佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	仏の掌に乗るガラスの神様		水彩、墨・紙 佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	スタンドグラス原画：燭台になったガラスの神様と女神様		水彩、墨・紙 佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	窯場の朝(ルツボの中)		水彩・紙 大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	夜空にガラスを吹く神様		水彩、墨・布 佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	3人のガラスの神様と影法師		水彩、墨・布 佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	硝子の女神	1982(昭和57)	ガラスレリーフ 田淵十一氏寄贈
佐藤潤四郎	赤いガラスの神様		ガラスレリーフ 田淵十一氏寄贈
佐藤潤四郎	硯屏・ガラスの神様(複製)		サンドキャスト 木村四郎氏寄贈
佐藤潤四郎	陶板・天使		陶器 大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	陶皿に描く2		陶器 大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	ガラス作業之図	1984(昭和59)頃	墨・紙 田淵十一氏寄贈
佐藤潤四郎	オブジェ・ガラスを吹く人		鍛鉄 大方竜子氏寄贈

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質
●1階			
笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント
アントニー・ゴームリー	量子雲XXIII	2000	ステンレス・スチール棒
アントニー・ゴームリー	領域XIII	2000	ステンレス・スチール棒
●2階展示ロビー			
舟越保武	少女	1956(昭和31)	砂岩
佐藤忠良	群馬の人	1952(昭和27)	ブロンズ
高田博厚	アラン像	1932(昭和7)	ブロンズ
木内 克	女の顔	1965(昭和40)	石膏、顔料 和田敏文氏寄贈
●前庭			
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ

2) 企画展

ターナー 風景の詩

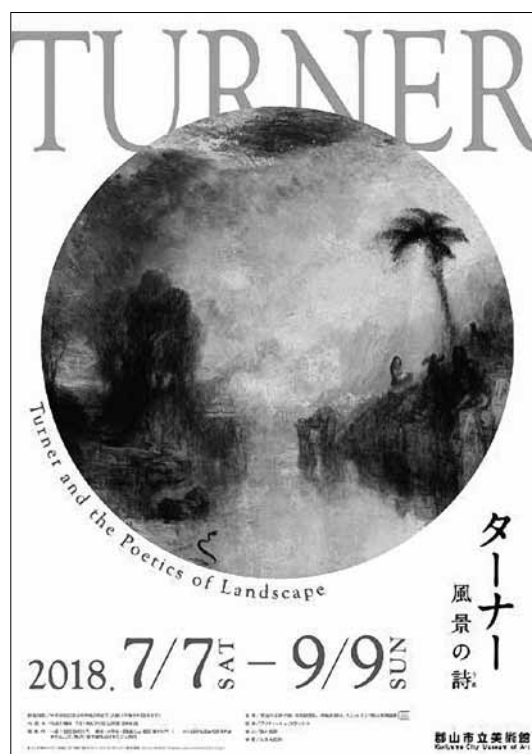
会 期:2018(平成30)年7月7日(土)~9月9日(日)
主 催:郡山市立美術館、毎日新聞社、福島民報社、
スコットランド国立美術館群
後 援:ブリティッシュ・カウンシル
協 力:日本航空
協 賛:大日本印刷
観 覧 料:一般1,200(960)円、高大学生・65歳以上800(640)円
()内は20名以上の団体料金

趣 旨

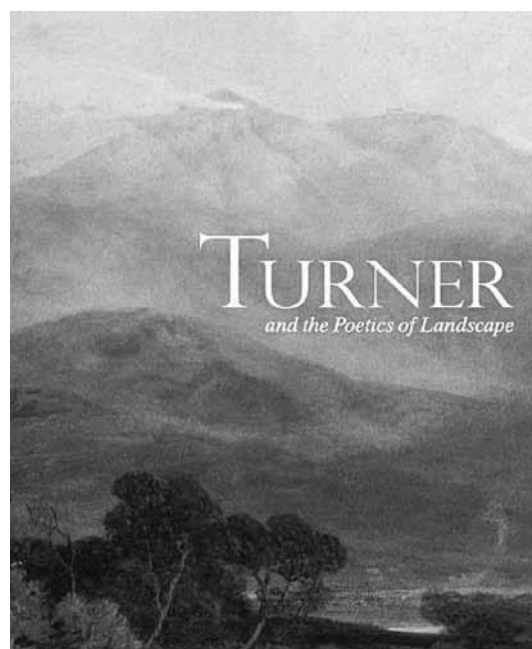
ターナー(1775-1851)は、イギリスで最も著名な画家であり、風景画の歴史においても独創的な画家である。ターナーは明治時代、多くの日本の画家にとって憧れの存在でもあった。本展は、ターナーの画業と芸術の全貌を、イギリス各地と日本国内の美術館から作品を選びすぐって紹介した。最新の知見をもとにターナーの芸術を再考し、油彩画、水彩画約70点と版画約110点によって、その核心と魅力に迫った。

関連行事

- 講演会「風の歌声・光の夢—ターナー芸術の真髄」
講師:高階秀爾(大原美術館館長/東京大学名誉教授)
日時:平成30年7月16日(月・祝)午後2時から
場所:多目的スタジオ
- 講演会「ターナーが見たもの/ターナーを見たもの—19世紀イギリス社会から考える—」
講師:森正人(三重大学教授)
日時:平成30年7月21日(土)午後2時から
場所:多目的スタジオ
- 講演会「光は海峡を越えて:ターナーのロマン主義からモネの印象主義へ」
講師:千足伸行(広島県立美術館館長/成城大学名誉教授)
日時:平成30年8月19日(日)午後2時から
場所:多目的スタジオ(入場無料)
- 美術講座「ターナーと崇高な風景」
講師:富岡進一(当館主任学芸員)
日時:平成30年8月26日(日)午後2時から
場所:講義室
- 美術講座「ターナーと絵画技法」
講師:新田量子(当館学芸員)
日時:平成30年9月8日(土曜日)午後2時から
場所:講義室
- ギャラリートーク
講師:富岡進一、新田量子
日時:平成30年7月22日(日)、7月29日(日)午後2時から
場所:企画展示室
- 映画上映『ターナー、光に愛を求めて』
日時:平成30年7月28日(土)午後2時から
場所:多目的スタジオ



ポスター



図録

発行物

『「ターナー 風景の詩」図録』

26.9×21.3cm 280ページ

執筆：クリストファー・ベーカー、シャーロット・トップスフィールド、富岡進一

編集：富岡進一、新田量子、南田奈穂

校閲：田宮宣保

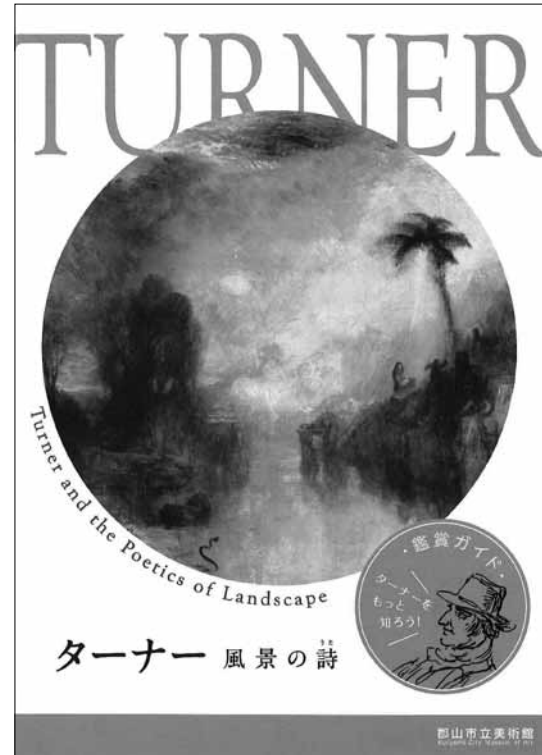
デザイン：梯耕治

制作：印象社

印刷：大日本印刷

発行：毎日新聞社

内容：謝辞／ごあいさつ 主催者／ごあいさつ スコットランド国立美術館群総館長、スコットランド・ナショナル・ポートレート・ギャラリー館長／メッセージ 駐日英国大使／目次
ターナー 風景の詩／クリストファー・ベーカー(巻頭論文)／Turner and the Poetics of Landscape / Christopher Baker／「1 地誌的風景画」／[Column] ターナー水彩画技法用語集、編：新田量子／「2 海景－海洋国家に生きて」／[Column] トマス・キャンベル『詩集』(1837)、編：富岡進一／「3 イタリア－古代への憧れ」／「4 山岳－あらたな景観美をさがして」／「5 ターナーの版画作品」／ターナーと旅／シャーロット・トップスフィールド(論文2)／描かれた労働／富岡進一(論文3)／関連地図 イギリス／ヨーロッパ／ターナーの生涯と同時代の出来事／主な展覧会歴(日本国内)／Chapter introductions(Christopher Baker)／Turner and his Tours(Charlotte Topsfield)Turner's Image of Industry [Summary] (Shinichi Tomioka)



鑑賞ガイド

『「ターナー 風景の詩」鑑賞ガイドブック』

21.0×14.8cm 16ページ

執筆：富岡進一

編集・発行：郡山市立美術館

デザイン：SPIRAL

発行：郡山市立美術館

内容：「風景画家ターナー」／「ターナーの生涯」／「第1章 地誌的風景画」／「第2章 海景－海洋国家に生きて」／「第3章 イタリア－古代への憧れ」／「第4章 山岳－あらたな景観美をさがして」／「ターナーの水彩画」／「ターナーの版画」／「美術館を楽しむためのルール」

関連記事

「ターナーの画業一堂に」、『福島民報』平成30年1月1日付。

富岡進一「ターナー 風景の詩 日本側監修学芸員が語る魅力」、『毎日新聞』平成30年3月14日付。

「両陛下 ターナー展鑑賞 東郷青児記念損保ジャパン日本興亜美術館」、『毎日新聞』平成30年6月7日付。

富岡進一「ターナー 風景の詩 コールトン・ヒルから見たエディンバラ」(上)、『福島民報』平成30年7月4日付。

富岡進一「ターナー 風景の詩 フォントヒル・アベイの東景、真昼」(中)、『福島民報』平成30年7月5日付。

富岡進一「ターナー 風景の詩 20ヴィニエットのうちの1点－ヘルゴラントの死の舟」(下)、「ターナー展あす開幕」、「ターナー 風景の詩」(記事下広告)、『福島民報』平成30年7月6日付。

「きょう開幕」、『福島民報』平成30年7月7日付。

「ターナー展はじまる」、『福島民報』平成30年7月8日付。

「新装開館で魅力発信 記念撮影場所も」、『福島民報』平成30年7月10日付。

「創作時の社会背景解説 高階大原美術館長が講演」、『福島民報』平成30年7月17日付。

「講演会や特別上映」、『福島民報』平成30年7月18日付。

「作家の成育環境など解説 森三重大学教授が講演」、『福島民報』平成30年7月22日付。

「学芸員が解説」、『福島民報』平成30年7月24日付。

富岡進一「ターナー 風景の詩 ソマーヒル・トンブリッジ」(1)、『毎日新聞』平成30年7月27日付。

「きょう上映会」、『福島民報』平成30年7月28日付。

富岡進一「ターナー 風景の詩 風下側の海辺にいる漁師たち、時化模様」(2)、『毎日新聞』平成30年7月28日付。

「作家の魅力や画業触れる 学芸員が独創的な技法解説」、『福島民報』平成30年7月30日付。

「あぶくま抄 英国の著名な画家」、『福島民報』平成30年7月31日付。

富岡進一「ターナー 風景の詩 ストーンヘンジ、ウィルトシャー」(3)、『毎日新聞』平成30年8月2日付。

「ターナー 風景の詩」(記事下広告)、『福島民報』平成30年8月15日付。

「来場者1万人超」、『福島民報』平成30年8月17日付。

富岡進一「ターナー 風景の詩 スノードン山、残照」(4)、「家族らでにぎわう 来場1万人突破のターナー展 夏休み好調」、『毎日新聞』平成30年8月18日付。

「透明水彩画の描き方を学ぶ」、『福島民報』平成30年8月19日付。

「他の画家に与えた影響は ターナーの作品について解説する千足氏」、『福島民報』平成30年8月20日付。

富岡進一「ターナー 風景の詩 モンテ・マリオから見たローマ」(5)、『毎日新聞』平成30年8月22日付。

「崇高な風景 魅力を紹介 きょう美術講座」、『福島民報』平成30年8月26日付。

「ターナーの作品 魅力解説 関連講座 富岡さん講師に」、「こけし 記念撮影用のパネルが人気」、『福島民報』平成30年8月27日。

橋本富夫「みんなのひろば 心を引き付けるターナー作品展」(投稿)、『福島民報』平成30年8月29日付。

「風景画の魅力に触れる 郡山市内高校美術連が研修」、『福島民報』平成30年9月2日付。

「来場者1万5000人に 池田さん(相模原)に記念品」、『福島民報』平成30年9月7日付。

「ターナー展あすまで」、『福島民報』平成30年9月8日付。

「絵画技法に理解 郡山市立美術館で講座 きょうまでターナー展」、『福島民報』平成30年9月9日付。



オープニング(平成30年7月7日)

出品目録

出品no.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵先
第1章 地誌的風景画					
1	マームズベリー修道院	1792展示	水彩、インク・紙	54×38.3	ノーフォーク、ノリッジ城博物館アート・ギャラリー
2	フォーリー橋、オックスフォード	1794	水彩・紙	20×26	アベリストウイス大学、美術学校アート・ギャラリー博物館
3	ロチェスター、ケント	1795	水彩、グワッシュ、鉛筆・紙	22.7×30.5	マンチェスター・アート・ギャラリー
4	ハイ・グリーン、ウルヴァーハンプトン	1795	水彩・紙	31.7×41.9	ウルヴァーハンプトン・アート・ギャラリー
5	北から見たピーターバラ大聖堂	1795頃	水彩・紙	11.4×17.8	ピーターバラ博物館アート・ギャラリー
6	アベルディライス水車、グラモーガンシャー	1796-97頃	水彩、鉛筆、スクレイピングアウト、ストッピングアウト・厚紙	37.6×48.8	アベリトウイス、ウェールズ国立図書館
7	タウンリー・ホール	1799	水彩・紙	21.1×31	バーンリー、タウンリー・ホール・アート・ギャラリー博物館群
8	フォントヒル・アベイの東景、真昼	1800展示	水彩・紙	68.5×103.5	エディンバラ、スコットランド国立美術館群
9	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810展示	油彩・カンヴァス	91.9×122.9	郡山市立美術館
10	ソマーヒル、トンブリッジ	1811展示	油彩・カンヴァス	92×122	エディンバラ、スコットランド国立美術館群
11	並木道、ファンリー・ホール	1815-19	水彩、鉛筆、チョーク、グワッシュ、ウオッシュ・紙	31.1×41.9	ボルトン博物館アート・ギャラリー
13	メリック修道院	1816-17頃	水彩・紙	28.2×41.3	栃木県立美術館
14	ギブサイド、グラム州、南西の眺め	1817-18頃	水彩・紙	26.2×43.1	グラム州、バーナード城、ボウス博物館
15	ギブサイド、グラム州、北からの眺め	1817	水彩・紙	27.5×45	グラム州、バーナード城、ボウス博物館
16	ヨークシャーのカーリー・ホール、家路につく牡鹿狩りの人々	1818頃	水彩、グワッシュ・紙	30.4×42.9	エディンバラ、スコットランド国立美術館群
17	コールドトン・ヒルから見たエディンバラ	1819頃	水彩、鉛筆、グワッシュ、スクレイピングアウト・網目紙	16.8×24.9	エディンバラ、スコットランド国立美術館群
18	ヘリオット養育院、エディンバラ	1819頃	水彩、鉛筆、スクレイピングアウト・網目紙	16.6×25	エディンバラ、スコットランド国立美術館群
19	ランカスター、水道橋からの眺め	1825頃	水彩、アラビアゴム・紙	28×29.4	ポート・サンライト、リヴァプール国立美術館群、レディ・リーヴァー・アート・ギャラリー
20	バックファストリーの修道院、デヴォンシャー	1826頃	水彩・紙	28.3×39.8	エクセター、ロイヤル・アルバート・メモリアル博物館アート・ギャラリー
21	ストーンヘンジ、ウィルトシャー	1827-28	水彩・紙	27.9×40.4	ソールズベリー博物館
22	スタンフォード、リンカーンシャー	1828頃	水彩、グワッシュ、スクレイピングアウト・紙	29×42	リンカーン、アッシュャー・ギャラリー
P-01	『リンカーン州の名所風景』	1797-1801	ライン・エングレーヴィング／本	28.8×23.7	郡山市立美術館
P-02	牧草地から仰ぎ見る城(オークハンプトン)	1808	エッチング、メゾティント	19.5×27.5	郡山市立美術館
P-03	泥炭沼、スコットランド	不明	エッチング、メゾティント	20.8×29.2	郡山市立美術館
P-04	ワイ川	不明	エッチング、メゾティント	21.1×28.8	郡山市立美術館
P-05	ソルウェイ・モス	不明	エッチング、メゾティント	21×29.2	郡山市立美術館
P-06	ノラム城	不明	エッチング、メゾティント	20.9×29	郡山市立美術館
P-07	ベリー・ボマロイ城(ラグラン城)	1816	エッチング、メゾティント	21.6×29.2	郡山市立美術館
p-08	ボウ・アンド・アロウ城、ポートランド島	1817	エッチング、ライン・エングレーヴィング	22.7×30.4	郡山市立美術館
P-09	ティンタジェル城、コーンウォール	1818	エッチング、ライン・エングレーヴィング	22.8×30.3	郡山市立美術館
p-10	ティンタジェル	不明	エッチング	23.1×30.3	郡山市立美術館
p-11	イースト・ゲート、ウィンチェルシー	不明	エッチング、メゾティント	22.2×28.8	郡山市立美術館
p-12	ウイスタブル、ケント	1826	エッチング、ライン・エングレーヴィング	22.7×30.2	郡山市立美術館
p-13	ティーズ川の流れ、ヨークシャー	不明	ライン・エングレーヴィング	23.7×29.2	郡山市立美術館
p-14	カルー城、ペンブローク	不明	ライン・エングレーヴィング	25.2×34	郡山市立美術館
P-15	『イングランドの河川(川のある風景)』	1823-27	メゾティント／本	30.1×24.5	郡山市立美術館
p-16	ランベリスの湖、ウェールズ	1834	エッチング、ライン・エングレーヴィング	25.4×31.9	郡山市立美術館
p-17	タイン川沿いのニューカースル	1826	メゾティント	19.5×25	郡山市立美術館
p-18	ダートマス城	1824	メゾティント	19.6×25.2	郡山市立美術館
p-19	オークハンプトン城	1825	メゾティント	18.8×25.7	郡山市立美術館
p-20	ダートマス	1825	メゾティント	19.2×24.7	郡山市立美術館
P-21	ブルーアム城	1825	メゾティント	19.7×25.3	郡山市立美術館

出品no.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵先
p-22	カークストールの水門	1827	メゾティント	19.6×25.4	郡山市立美術館
p-23	トットネス	1827	メゾティント	19×25.3	郡山市立美術館
P-24	ストーンヘンジ、ウィルトシャー	1829	エッチング、ライン・エン グ レーヴィング	24.8×30.8	郡山市立美術館
p-25	ストーンヘンジ	不明	エッチング	24.8×30.3	郡山市立美術館
第2章 海景—海洋国家に生きて					
24	風下側の海辺にいる漁師たち、時化模様	1802展示	油彩・カンヴァス	91.5×122	サウサンプトン・シティ・ アート・ギャラリー
25	嵐の近づく海景	1803-04頃	油彩・カンヴァス	45.7×60.9	東京富士美術館
26	ファルマス港、コーンウォール	1812-13頃	水彩、グワッシュ・網目紙	15.6×23.2	ポート・サンライト、リ ヴァプール国立美術館 群、レディ・リーヴァー・ アート・ギャラリー
27	タインマウス小修道院	1822頃	水彩・紙	15.9×24.1	ブラックバーン博物館 アート・ギャラリー
28	セント・オールバンズ・ヘッド沖	1822頃	水彩・紙	39.8×68	ハロゲイト、メーサー・ アート・ギャラリー
29	ポーツマス、ハンブシャー	1824頃	水彩、グワッシュ・網目紙	15.4×23.5	ポート・サンライト、リ ヴァプール国立美術館 群、レディ・リーヴァー・ アート・ギャラリー
30	シドマス、デヴォン	1825-27	水彩、スクラッチングアウト・ 紙	18.4×26.3	マンチェスター大学、 ウィットワース
31	ゴスポート、ポーツマス港の入り口	1829頃	水彩・紙	29.2×43.2	ポーツマス博物館群
32	ショーラム	1830頃	水彩・紙	21×31.2	ブラックバーン博物館 アート・ギャラリー
33	ヘレヴーツリュイスから出航するユトレヒ トシティ64号	1832展示	油彩・カンヴァス	91.4×122	東京富士美術館
34	ル・アーヴル	1832頃	水彩、グワッシュ・青色の紙	13.3×19.1	ダンディー・シティ・カ ウンシル(ダンディー美 術博物館群)
35	20ヴィニエットのうちの1点—バルト海の戦い	1835頃	水彩、鉛筆・紙	14×13	エディンバラ、スコット ランド国立美術館群
36	20ヴィニエットのうちの1点—キャンプ・ヒ ルにて、ヘイスティングス近く	1835頃	水彩、鉛筆・紙	15×12.5	エディンバラ、スコット ランド国立美術館群
37	20ヴィニエットのうちの1点—ヘルゴラント の死の舟	1835頃	水彩、鉛筆・紙	13×12	エディンバラ、スコット ランド国立美術館群
38	波の習作	1840頃	水彩、グワッシュ・灰色の紙	18.8×27.4	個人蔵
39	海辺の日没とホウボウ	1838-40	黒チョーク、水彩、グワッ シュ・淡黄灰色の紙	21.8×28.4	マンチェスター大学、 ウィットワース
40	オステンデ沖の汽船	1840-41頃	グラファイト、水彩、スクレ イピングアウト・紙	24.8×36.4	ポート・サンライト、リ ヴァプール国立美術館 群、レディ・リーヴァー・ アート・ギャラリー
41	海岸で救難作業をする人々	1840年代	グラファイト、水彩・紙	22.2×29.2	個人蔵
42	マーゲイトの浜辺の眺め	不明	油彩・カンヴァス	46.2×61.3	マンチェスター大学、 ウィットワース
P-26	エグリモント氏のための海景画(海風のなか の船)	不明	エッチング、メゾティント	20.5×28.8	郡山市立美術館
P-27	インヴェラレイ・ピア、ファイン湾、朝	1811	エッチング、メゾティント、 アクアティント	21.6×26.3	郡山市立美術館
P-28	嵐	不明	エッチング、メゾティント	21.7×30.5	郡山市立美術館
p-29	ウェイマス、ドーセットシャー	1814	エッチング、ライン・エン グ レーヴィング	22.7×30.1	郡山市立美術館
P-30	『ピクチャレスク—イングランド南海岸の描 写』第3集(全16集)	1814	エッチング、ライン・エン グ レーヴィング/ポートフォリオ	39.2×28.6	郡山市立美術館
P-31	『ピクチャレスク—イングランド南海岸の描 写』第4集(全16集)	1814	エッチング、ライン・エン グ レーヴィング/ポートフォリオ	39.2×28.6	郡山市立美術館
P-32	『ピクチャレスク—イングランド南海岸の描 写』第5集(全16集)	1815	エッチング、ライン・エン グ レーヴィング/ポートフォリオ	39.2×28.6	郡山市立美術館
P-33	プリマス海峡の入口のミュー・ストーン、 デヴォンシャー	1816	エッチング、ライン・エン グ レーヴィング	22.7×30.4	郡山市立美術館
P-34	ファルマス港、コーンウォール	1816	エッチング、ライン・エン グ レーヴィング	22.7×30.4	郡山市立美術館
P-35	『ピクチャレスク—イングランド南海岸の描 写』第7集(全16集)	1816	エッチング、ライン・エン グ レーヴィング/ポートフォリオ	39.2×28.6	郡山市立美術館
p-36	『ピクチャレスク—イングランド南海岸の描 写』第10集(全16集)	1820	エッチング、ライン・エン グ レーヴィング/ポートフォリオ	22.8×30.1	郡山市立美術館
p-37	『ピクチャレスク—イングランド南海岸の描 写』第11集(全16集)	1821	エッチング、ライン・エン グ レーヴィング/ポートフォリオ	22.6×30.3	郡山市立美術館
p-38	『ピクチャレスク—イングランド南海岸の描 写』第12集(全16集)	1824	エッチング、ライン・エン グ レーヴィング/ポートフォリオ	24.9×30.7	郡山市立美術館
P-39	クロヴェリー湾、デヴォンシャー	1824	エッチング、ライン・エン グ レーヴィング	24.1×31.9	郡山市立美術館
p-40	クロヴェリー湾	不明	エッチング	22.7×30.5	郡山市立美術館
p-41	『ピクチャレスク—イングランド南海岸の描 写』第13集(全16集)	1824	エッチング、ライン・エン グ レーヴィング/ポートフォリオ	24.2×30.1	郡山市立美術館
P-42	エディスタン灯台	1824	メゾティント	26.0×35.5	郡山市立美術館

出品no.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵先
p-43	『ピクチャレスクーイングランド南海岸の描写』第14集(全16集)	1825	エッチング、ライン・エンブレヴィング／ポートフォリオ	22.7×30.3	郡山市立美術館
p-44	『ピクチャレスクーイングランド南海岸の描写』第15集(全16集)	1826	エッチング、ライン・エンブレヴィング／ポートフォリオ	23.4×30.9	郡山市立美術館
P-45	ボスカースル、コーンウォール	1825	エッチング、ライン・エンブレヴィング	24.4×30.6	郡山市立美術館
p-46	ボスカースル	不明	エッチング	24.4×30.7	郡山市立美術館
p-47	フォークストン、ケント	1826	エッチング、ライン・エンブレヴィング	24×30.3	郡山市立美術館
P-48	ハンバー川の河口	1826	メゾティント	19.2×25.3	郡山市立美術館
P-49	スカーバラ	1826	メゾティント	19.8×25.3	郡山市立美術館
p-50	ウィットビー	1826	メゾティント	19.5×25.4	郡山市立美術館
p-51	デイル	1826	メゾティント	19.7×25.6	郡山市立美術館
P-52	ドーヴァー海峡	1827	エッチング、ライン・エンブレヴィング	24.9×32.6	郡山市立美術館
P-53	マーゲイト	1828年以前	メゾティント	20.2×27.1	郡山市立美術館
p-54	キャットウォーター、プリマス	不明	メゾティント	19.8×25.5	郡山市立美術館
P-55	カレー沖の釣船(ドーヴァー海峡)	1830	メゾティント	47×64	郡山市立美術館
p-56	ジブラルタル	1832	ライン・エンブレヴィング	17.2×23.7	郡山市立美術館
p-57	ロードス	1833	ライン・エンブレヴィング	17.7×23.4	郡山市立美術館
p-58	ジェノヴァ	1833	ライン・エンブレヴィング	17.7×23.2	郡山市立美術館
p-59	バルト海の戦い	1837	ライン・エンブレヴィング	29.3×15.3	郡山市立美術館
p-60	キャンブ・ヒル、ヘイスティングス	1837	ライン・エンブレヴィング	29.3×15.3	郡山市立美術館
p-61	ヘルゴラントの死の舟	1837	ライン・エンブレヴィング	29.3×15.3	郡山市立美術館
P-62	『イングランドの港』	1856	メゾティント／本	38.4×28.3	郡山市立美術館
P-63	海と空の習作	1825年頃	メゾティント	18.9×25.4	郡山市立美術館
第3章 イタリアー古代への憧れ					
43	ヴェスヴィオ山とサン・サルヴァトーレ修道院	1794-97	黒チヨークに青、灰、茶のウォッシュ・紙	32.2×49	エディンバラ、スコットランド国立美術館群
44	ローマ 左岸にアヴェンティーノの丘のあるテヴェレ川	1794-97	黒チヨークの線に青、茶のウォッシュ・紙	27.5×48.5	エディンバラ、スコットランド国立美術館群
45	テルニの滝	1817頃	水彩・紙	22.2×13.2	ブラックバーン博物館アート・ギャラリー
46	メインヘッドとダンスター城、サマセット	1818頃	水彩、アラビアゴム・紙	15.2×22.2	ポート・サンライト、リヴァプール国立美術館群、レディ・リーヴァー・アート・ギャラリー
47	モンテ・マリオから見たローマ	1820	水彩、スクレイピングアウト・紙	29.8×41.5	エディンバラ、スコットランド国立美術館群
48	ハイスの眺め、ケント	1824	水彩・紙	14×22.9	ロンドン、ギルドホール・アート・ギャラリー
49	ミネルヴァ神殿、コロナ岬	1830	水彩・紙	16×21.9	バーンリー、タウンリー・ホール・アート・ギャラリー博物館群
50	20ヴィニエットのうちの1点ー夏の夕べ(『希望の喜び』挿絵)	1835頃	水彩、鉛筆・紙	13×12.5	エディンバラ、スコットランド国立美術館群
51	20ヴィニエットのうちの1点ーオコナーの子	1835頃	水彩、鉛筆・紙	12.5×9	エディンバラ、スコットランド国立美術館群
52	20ヴィニエットのうちの1点ー谷(『ワイオミングのガートルード』挿絵)	1835頃	水彩、鉛筆・紙	14×11	エディンバラ、スコットランド国立美術館群
53	20ヴィニエットのうちの1点ー滝(『ワイオミングのガートルード』挿絵)	1835頃	水彩、鉛筆・紙	13×11.5	エディンバラ、スコットランド国立美術館群
54	20ヴィニエットのうちの1点ー死んだ鷺	1835頃	水彩、鉛筆・紙	12×10	エディンバラ、スコットランド国立美術館群
55	キリスト教の黎明(エジプトへの逃避)	1841展示	油彩・カンヴァス	直径78.5	ベルファスト、北アイルランド国立美術館群
56	風景ータンバリンをもつ女	1840-50頃	油彩・カンヴァス	88.5×118	栃木県立美術館
P-64	橋と牛	不明	エッチング、メゾティント	20.8×28.9	郡山市立美術館
p-65	橋と牛	1807	エッチング	20.6×28.6	郡山市立美術館
p-66	アブレイウスを探し求めるアブレイア	不明	エッチング	21.1×29.2	郡山市立美術館
p-67	ウィンザーでの羊洗い(ソルト・ヒルから見るウィンザー城)	不明	エッチング	20.7×29	郡山市立美術館
p-68	こうのとりと水路	不明	エッチング	21.6×27.3	郡山市立美術館
p-69	バトル修道院	1816	エッチング、ライン・エンブレヴィング	22.5×32.9	郡山市立美術館
p-70	ボースウィック城	不明	エッチング、ライン・エンブレヴィング	23.4×31.4	郡山市立美術館
p-71	ボースウィック城	不明	エッチング	24.4×30.5	郡山市立美術館
P-72	ノアの大洪水	1828	メゾティント	45.7×63	郡山市立美術館
P-73	『ロジャーズのイタリア』	1829-30	ライン・エンブレヴィング／ブルーフ集	25.9×14	郡山市立美術館
P-74	ボッカチオの庭(鳥かご)	1830	メゾティント	63.5×55.5	郡山市立美術館

出品no.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵先
P-75	『ロジャーズの詩集』	1834	ライン・エングレーヴィング /本	20.2×14.5	STコレクション
P-76	アテネのアクロポリス	1832	ライン・エングレーヴィング	17.8×25	郡山市立美術館
P-77	サンタ・マリア・デッラ・スピーナ、ピサ	1832	ライン・エングレーヴィング	23.4×17.5	郡山市立美術館
P-78	トロイの平原	1832	ライン・エングレーヴィング	23.7×17.7	郡山市立美術館
P-79	古代ローマの城壁(ガイウス・ケステイウスの墓)	1833	ライン・エングレーヴィング	23.4×17.6	郡山市立美術館
P-80	ウーグモンから見たワテルローの戦場	1833	ライン・エングレーヴィング	23.6×17.6	郡山市立美術館
P-81	キオス島(メレクの泉、メフメト・バシヤ)	1833	ライン・エングレーヴィング	23.5×17.5	郡山市立美術館
P-82	ケルン	1833	ライン・エングレーヴィング	23.3×17.7	郡山市立美術館
P-83	聖ソフィア、コンスタンティノープル	1833	ライン・エングレーヴィング	23.5×17.3	郡山市立美術館
P-84	ホメロスの学堂、キオス島	1833	ライン・エングレーヴィング	23.3×17.5	郡山市立美術館
p-85	『フランスの河川』	1833-35	ライン・エングレーヴィング /ブルーフ集	23.8×16.2	郡山市立美術館
p-86	『ターナーの年次旅行』第1巻「ロワール遺通」	1833	ライン・エングレーヴィング /本	24.3×17.2	STコレクション
P-87	『ターナーの年次旅行』第2巻「セーナ遺通」	1834	ライン・エングレーヴィング /本	22×14.4	STコレクション
P-88	『フィンデンの聖書風景挿絵』第1巻	1836	ライン・エングレーヴィング /本	24×17.2	STコレクション
p-89	『フィンデンの聖書風景挿絵』第2巻	1836	ライン・エングレーヴィング /本	24×17.2	STコレクション
p-90	夏の夕べ—虹	1837	ライン・エングレーヴィング	29.3×15.3	郡山市立美術館
p-91	ブラハーコシチュシュコ	1837	ライン・エングレーヴィング	29.3×15.3	郡山市立美術館
p-92	オコナーの子	1837	ライン・エングレーヴィング	29.3×15.3	郡山市立美術館
p-93	ロヒールの警告	1837	ライン・エングレーヴィング	29.3×15.3	郡山市立美術館
p-94	ホーエンリンデン	1837	ライン・エングレーヴィング	29.3×15.3	郡山市立美術館
p-95	兵士の夢	1837	ライン・エングレーヴィング	29.3×15.3	郡山市立美術館
p-96	最後の人	1837	ライン・エングレーヴィング	29.3×15.5	郡山市立美術館
p-97	ワイオミングのガートルード—谷	1837	ライン・エングレーヴィング	29.3×15.3	郡山市立美術館
p-98	ワイオミングのガートルード—滝	1837	ライン・エングレーヴィング	29.3×15.7	郡山市立美術館
p-99	ブナの木の祈願	1837	ライン・エングレーヴィング	29.3×15.3	郡山市立美術館
p-100	死んだ鷺—オラン	1837	ライン・エングレーヴィング	29.1×15.2	郡山市立美術館
P-101	ネッカー川対岸から見たハイデルベルク	1846	エッチング、ライン・エン グレーヴィング	36.6×54.1	郡山市立美術館

第4章 山岳—あらたな景観美をさがして

58	コニストンの荒地	1797頃	水彩、鉛筆・紙	25×35	郡山市立美術館
59	スノードン山、残照	1798-99	水彩、スクレイピングアウト・紙	52.7×75.6	エディンバラ、スコットランド国立美術館群
60	キルカーン城、クラチャン・ベン山—真昼	1801年頃	水彩・紙	53.3×77.2	プリマス・シティ・カウンスル(アーツ・アンド・ヘリテージ)
61	ボソン氷河、シャモニー	1802	グラフィート、水彩・紙	32×47.6	個人蔵
62	ノイハウスの船着場から見たトゥーン湖、スイス	1802	鉛筆、黒チョーク、水彩・紙	32.5×47.8	マンチェスター大学、ウィットワース
63	サン・ゴタル山の峠、悪魔の橋の中央からの眺め、スイス	1804展示	水彩、スクレイピングアウト・紙	98.5×68.5	ケンダル、アボット・ホール・アート・ギャラリー
64	サヴォワの情景	1802-20	水彩・紙	29.2×40	ウルヴァーハンプトン・アート・ギャラリー
65	ローレイ、ドイツ	1817	水彩、グワッシュ、グラフィート、スクラッチングアウト・紙	19.7×30.5	マンチェスター大学、ウィットワース
66	20ヴェニエットのうちの1点—アンデス(「希望の喜び」挿絵)	1835頃	水彩、鉛筆・紙	11.5×11.5	エディンバラ、スコットランド国立美術館群
67	20ヴェニエットのうちの1点—シナイ山の雷(「希望の喜び」挿絵)	1835頃	水彩、鉛筆・紙	12.5×9.5	エディンバラ、スコットランド国立美術館群
68	20ヴェニエットのうちの1点—スイスの谷：テオドリック	1835頃	水彩、鉛筆・紙	13.5×11.5	エディンバラ、スコットランド国立美術館群
69	20ヴェニエットのうちの1点—ウリン脚の娘	1835頃	水彩、鉛筆・紙	12×10	エディンバラ、スコットランド国立美術館群
70	20ヴェニエットのうちの1点—勇敢なローラント	1835頃	水彩、鉛筆・紙	12×11.5	エディンバラ、スコットランド国立美術館群
71	20ヴェニエットのうちの1点—ドイツ国民への頌歌：エレンブライトシュタイン	1835頃	水彩、鉛筆・紙	13.5×11.5	エディンバラ、スコットランド国立美術館群
72	古都ブレゲンツの眺め	1840頃	鉛筆、水彩、グワッシュ、赤チョーク・灰色の紙	18.6×27.8	バーズリー、クーパー・ギャラリー
73	ルツェルン湖越しに見えるピラトゥス山	1842頃	水彩、スクラッチングアウト・紙	21.6×26.9	個人蔵
75	サン・ゴタル峠の下り道	1848	水彩・紙	31.6×51.7	郡山市立美術館
P-102	アルヴェロン川の水源地	不明	エッチング、メゾティント	21.7×28.8	郡山市立美術館
P-103	スペインサールのフェアリー・クイーンより	不明	エッチング、メゾティント	21.6×29.6	郡山市立美術館

出品no.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵先
P-104	グランド・シャルトルーズ近くの水車小屋	1816	エッチング、メゾティント	21.0×29.1	郡山市立美術館
P-105	ベン・アーサー	1819	エッチング、メゾティント	20.8×29.1	郡山市立美術館
P-106	城のあるライン川	1833	ライン・エングレーヴィング	23.4×17.5	郡山市立美術館
P-107	アンデス、海岸	1837	ライン・エングレーヴィング	29.3×15.3	郡山市立美術館
P-108	シナイ山の雷	1837	ライン・エングレーヴィング	29.3×15.3	郡山市立美術館
P-109	スイスの谷	1837	ライン・エングレーヴィング	29.3×15.3	郡山市立美術館
P-110	ウリン卿の娘	1837	ライン・エングレーヴィング	29.3×15.3	郡山市立美術館
P-111	ローラントシェック	1837	ライン・エングレーヴィング	29.3×15.3	郡山市立美術館
P-112	エーレンブライトシュタイン	1837	ライン・エングレーヴィング	29.3×15.3	郡山市立美術館
参考 出品	ウィリアム・アラン(1782年生～1850年没) 《ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー》	不明	インク・紙	26.6×17.9	エディンバラ、スコット ランド国立美術館群



内覧会(平成30年7月7日)

〈眼の人〉今泉亀撒のコレクション

会 期：2018(平成30)年9月22日(土)～12月24日(月・休)
 主 催：郡山市立美術館
 協 力：医療法人明信会 今泉眼科病院 今泉西病院
 助 成：芸術文化振興基金
 観 覧 料：一般800円(640)円
 高校・大学生・65歳以上500(400)円
 ※()内は団体料金。中学生以下、障がい
 者手帳をお持ちの方は無料。

趣 旨

本展は、郡山市名誉市民として顕彰された医学博士、今泉亀撒(1907-2009)が収集した美術作品を紹介した。

日本最初の角膜移植に成功し、角膜移植法の成立、そして角膜移植のための眼球銀行いわゆるアイ・バンクの設立にも大きく寄与した今泉亀撒は、「眼の人」といっていいだろう。開眼とは心の開眼である、と彼がいうように、彼自身も美術に開眼していくことによってコレクションを形成していったのである。

そんな彼のコレクションの特徴は、実際に親交のあった作家たちの作品を軸にしている点にある。それは、東北大学医学部助教授時代に知り合った彫刻家阿部正基に始まり、岩手医科大学教授時代に出会った岩手出身の作家たちから、戦後日本の抽象表現を牽引した猪熊弦一郎にまでつながるのである。また、彼はコレクションにひとつの歴史的な流れを与えるかのように、日本近代美術の著名な作家たちに加え、海外ではバルビゾン派やルオー、シャガールなどの作品を加えることでその幅を拡げていった。

本展は、現在医療法人明信会今泉西病院蔵となっている今泉コレクションの中から約180点を紹介し、その変遷をたどった。

関連行事

- ギャラリートーク
 講師：菅野洋人(当館主任主査)、新田量子(当館学芸員)、田中
 沙子(当館学芸員)、杉原 聡(当館主任主査)
 日時：平成30年9月22日(土)、10月27日(土)、11月10日(土)、
 12月1日(土)午後2時から
 場所：企画展示室
- 美術講座「今泉亀撒とそのコレクション」
 講師：菅野洋人
 日時：平成30年9月30日(日)午後2時から
 場所：講義室
- 特別ギャラリートーク
 講師：吉田尊子(岩手県立美術館学芸普及課長)
 日時：平成30年10月8日(月・祝)午後2時から
 場所：企画展示室
- 美術講座「今泉亀撒と彫刻」
 講師：新田量子
 日時：平成30年10月20日(土)午後2時から
 場所：講義室
- 講演会：「今泉亀撒と岩手の美術」
 講師：中村光紀(萬鉄五郎記念美術館館長)
 日時：平成30年11月3日(土・祝)午後2時から
 場所：多目的スタジオ



ポスター



図録

- 映画会：「宮澤賢治-その愛-」
日時：平成30年11月11日(日)午後2時から
場所：多目的スタジオ
- 美術講座「今泉コレクションを愉しむ」
講師：杉原 聡
日時：平成30年11月24日(土)午後2時から
場所：講義室
- 美術講座「今泉亀撒と猪熊弦一郎」
講師：田中有沙子
日時：平成30年12月8日(土)午後2時から
場所：講義室

発行物

『眼の人 今泉亀撒のコレクション』

255×183mm 144ページ

発行日：平成30年9月22日

編集：郡山市立美術館(菅野洋人、杉原 聡、田中有沙子、新田量子)

表紙デザイン：浜津みゆき(imagement)

制作・印刷：株式会社ヨシダコーポレーション

発行：郡山市立美術館

内容：佐治ゆかり「ごあいさつ」／謝辞／今泉信一郎「父 今泉亀撒と芸術家たちとの思い出」／櫻村 栄「『眼の人』今泉亀撒のコレクション」に寄せて／中村光紀「今泉亀撒コレクションと岩手の美術」／菅野洋人「今泉コレクションについて」／図版／今泉亀撒年譜／田中有沙子「今泉亀撒と猪熊弦一郎の交流―『氏像』を中心に―」／新田量子「今泉亀撒と3人の彫刻家」／作家解説／今泉西病院所蔵の作家別の文献／出品目録

関連記事

「郡山生まれ・医学博士 故今泉氏の収集品並びに 市立美術館で企画展開幕」、『福島民報』郡山版、平成30年9月23日付。

「故今泉さん収集美術作品を展示 12月まで市立美術館」、『福島民友』郡山版、平成30年9月24日付。

「『眼の人』今泉亀撒のコレクション」、『福島民友』、平成30年10月5日付。

菅野洋人「珠玉の美の全貌 故今泉亀撒氏のコレクション 郡山市立美術館学芸員が魅力紹介」、『福島民報』12月7日付。

杉原 聡「独自の審美眼の結晶 眼科医・今泉亀撒さん収集品展 故郷・郡山の市立美術館で」、『福島民友』12月12日付。



ギャラリートーク(平成30年12月1日)

出品目録

第1章

コレクションの始まり=阿部正基との出会い

1-1

阿部正基
雲
1954(昭和29)年
ブロンズ

1-2

阿部正基
校庭
1958(昭和33)年
石膏着色

1-3

阿部正基
起きる
1964(昭和39)年
ブロンズ

1-4

阿部正基
黙
1969(昭和44)年
ブロンズ

1-5

阿部正基
今泉亀撤胸像
1975(昭和50)年
ブロンズ

1-6

阿部正基
今泉亀撤像レリーフ
1975(昭和50)年
ブロンズ

第2章

行木正義、猪熊弦一郎との交友

2-1

行木正義
無題
1960(昭和35)年
水彩・紙

2-2

行木正義
無題
1960年代
油彩・厚紙

2-3

行木正義
川と教会
1960年代
油彩・キャンバス

2-4

行木正義
線と幻想
1960年代
油彩・キャンバス

2-5

行木正義
PEINTURE
1960年代
油彩・板

2-6

行木正義
グリーン
1970年代
油彩・キャンバス

2-7

行木正義
無題
1970年代
油彩・キャンバス

2-8

行木正義
白の空間
1982(昭和57)年
アクリル、コンテ・キャンバス

2-9

猪熊弦一郎
Center Road and Blue
1960(昭和35)年
油彩・キャンバス

2-10

猪熊弦一郎
Untitled
1961(昭和36)年
水彩・紙

2-11

猪熊弦一郎
City High Way
原画は1966(昭和41)年
シルクスクリーン・紙 ed.E.A.

2-12

猪熊弦一郎
ねこ
1973(昭和48)年
墨・色紙(金地)

2-13

猪熊弦一郎
ねずみと猫
墨・紙

2-14

猪熊弦一郎
白の中の言葉
1977(昭和52)年6月30日
水彩、鉛筆・紙

2-15

猪熊弦一郎
FUEN 78 発生
1978(昭和53)年
石版・紙 ed.A.P.

2-16

猪熊弦一郎
対比
1978(昭和53)年11月16日
水彩、コラージュ・紙

2-17

猪熊弦一郎
Kachina doll in green desert
1980(昭和55)年
石版・紙 ed.39/100

2-18

猪熊弦一郎
賑やかなる隣人
1981(昭和56)年
水彩・紙

2-19

猪熊弦一郎
今泉亀撤先生
1981(昭和56)年11月23日
コンテ、水彩・紙

2-20

猪熊弦一郎
I 氏像
1983(昭和58)年
油彩・キャンバス

2-21

猪熊弦一郎
生命のバランス
1985(昭和60)年
水彩・紙

2-22

猪熊弦一郎
顔 2(FACE 2)
1988(昭和63)年
墨・紙

2-23

猪熊弦一郎
宇宙滑走路(『惑星通信88』より)
1989(平成元)年
石版・紙 ed.50/88

2-24

猪熊弦一郎
地球放送(『惑星通信88』より)
1989(平成元)年
石版・紙 ed.50/88

2-25

猪熊弦一郎
太陽とロボット(『惑星通信88』より)
1989(平成元)年
石版・紙 ed.50/88

2-26

猪熊弦一郎
通信基地(『惑星通信88』より)
1989(平成元)年
石版・紙 ed.50/88

2-27

猪熊弦一郎
衛星とオートバイ(『惑星通信88』より)
1989(平成元)年
石版・紙 ed.50/88

2-28

猪熊弦一郎
“顔”朝
1990(平成2)年
モノタイプ・紙

2-29

猪熊弦一郎
猫立ちどまる
1991(平成3)年
モノタイプ、墨・紙

2-30

猪熊弦一郎
猫立ちどまる
1991(平成3)年(1月10日の日付あり)
モノタイプ、墨・紙

第3章

岩手の作家たち

3-1

萬鉄五郎
婦人の顔
1910(明治43)年頃
油彩・板

3-2

深澤省三
暁
1978-88(昭和53-63)年
岩絵具・色紙

3-3
深澤省三
闘技
1979(昭和54)年
岩絵具・厚紙

3-4
深澤紅子
草の実
1978(昭和53)年
油彩・キャンバス

3-5
深澤紅子
あけび(『やさしい花』より)
1983(昭和58)年
石版・紙 ed.20/75

3-6
深澤紅子
てっせん(『やさしい花』より)
1983(昭和58)年
石版・紙 ed.20/75

3-7
深澤紅子
ゆりの木の花(『やさしい花』より)
1983(昭和58)年
石版・紙 ed.20/75

3-8
深澤紅子
ふしぐろせんのう(『やさしい花』より)
1983(昭和58)年
石版・紙 ed.20/75

3-9
深澤紅子
ほうの花(『やさしい花』より)
1983(昭和58)年
石版・紙 ed.20/75

3-10
深澤紅子
松虫草(『やさしい花』より)
1983(昭和58)年
石版・紙 ed.20/75

3-11
深澤紅子
雫石あねこ
1984(昭和59)年頃
石版・紙 ed.45/60

3-12
橋本八百二
岩手富士
油彩・キャンバス

3-13
橋本八百二
青磁の壺とバラ
1966(昭和41)年
油彩・キャンバスボード

3-14
白石隆一
須川温泉
油彩・キャンバスボード

3-15
松本竣介
スケッチ(右手を上げる男)
1936(昭和11)年11月
ペン・紙

3-16
松本竣介
スケッチ(横向きの女)
1942(昭和17)年3月13日
鉛筆・紙

3-17
松本竣介
スケッチ(女の顔)
ペン・紙

3-18
松本竣介
スケッチ(食事をする男たち)
ペン・紙

3-19
松本竣介
スケッチ(座る女たち)
ペン・紙

3-20
松本竣介
スケッチ(ふたりの男)
ペン、インク・紙

3-21
舟越保武
パイラス
1951(昭和26)年
大理石(紅あられ)

3-22
舟越保武
たつこ姫
1967(昭和42)年
ブロンズ

3-23
舟越保武
聖セシリア
1980(昭和55)年
ブロンズ

3-24
舟越保武
横笛を吹く少年
1948(昭和23)年7月
コンテ・紙

3-25
舟越保武
女の顔
1949(昭和24)年
パステル・紙

3-26
舟越保武
聖セシリア
鉛筆・紙

3-27
千葉 勝
風と樹
1973(昭和48)年
石版・紙 ed.49/50

3-28
吉田清志
残雪磐梯
1984(昭和59)年
油彩・キャンバス

3-29
吉田清志
山の春(奥日光)
油彩・キャンバス

3-30
畠山孝一
岩場昇陽(大祝海岸)
1987(昭和62)年
油彩・キャンバス

3-31
畠山孝一
三陸の譜(海原速く)

1989(平成元)年
油彩・キャンバス

3-32
畠山孝一
三陸の譜(段丘)
1989(平成元)年
油彩・キャンバス

3-33
重石晃子
バリの一隅
1977(昭和52)年
油彩・キャンバス

3-34
渡部吟子
卓上
1980(昭和55)年
油彩・キャンバス

3-35
渡部吟子
はたとさくらんぼ
油彩・キャンバス

3-36
本田貴侶
今泉亀嶺先生
1974(昭和49)年頃
アルミ合金

3-37
本田貴侶
座球体・はま
1980(昭和55)年
ブロンズ

3-38
藤井 勉
野末
1987(昭和62)年
水彩・紙

第4章 日本近現代美術への視線

4-1
吉田 博
登山口(宿場の馬)
絹本墨画淡彩

4-2
安井曾太郎
女
1942(昭和17)年
油彩・キャンバス

4-3
梅原龍三郎
臥裸婦
1923(大正12)年
油彩・キャンバス

4-4
長谷川利行
赤い倉庫
油彩・紙

4-5
三木宗策
うさぎ
木

4-6
木内 克
手を上げた女
1951(昭和26)年
テラコッタ

4-7
木内 克

- 猫
ブロンズ
- 4-8
木内 克
裸婦
1961(昭和36)年
コンテ、バステル・紙
- 4-9
阿井瑞岑
雪中牡丹
木
- 4-10
阿井瑞岑
翁木
- 4-11
中川一政
ばらと柿
油彩・キャンバス
- 4-12
伊東深水
現代美人集の内 湯の香
1930(昭和5)年
木版・紙
- 4-13
伊東深水
洗ひ髪
1936(昭和11)年
木版・紙
- 4-14
高田博厚
ジョルジュ・ルオー像
1974(昭和49)年
ブロンズ
- 4-15
高田博厚
女
1983(昭和58)年
ブロンズ
- 4-16
高田博厚
裸婦
1979(昭和54)年
バステル・色紙
- 4-17
高田博厚
裸婦
1979(昭和54)年12月31日
バステル・紙
- 4-18
棟方志功
追開心経頌「自在の柵」
1957(昭和32)年8月15日
木版・紙
- 4-19
棟方志功
太平洋上御参尊の柵
1961(昭和36)年
木版・紙
- 4-20
小磯良平
若い女
1985(昭和60)年頃
木炭、水彩・紙
- 4-21
佐藤匡義
羅漢
木
- 4-22
柳原義達
鳩
1981(昭和56)年
サインペン・紙
- 4-23
柳原義達
裸婦
銅版(エッチング)・紙 ed.A.P.
- 4-24
佐藤忠良
オリエ85
1985(昭和60)年
ブロンズ
- 4-25
佐藤忠良
女・夏(エスキース)
1985(昭和60)年
ブロンズ
- 4-26
佐藤忠良
見上げる女
1976(昭和51)年
石版・紙 ed.50/70
- 4-27
佐藤忠良
フード(『童心頌』より)
1984(昭和59)年
銅版(エッチング)・紙 ed.19/125
- 4-28
高橋 清
クラルテに捧ぐ
1981(昭和56)年
石版・紙 ed.38/100
- 4-29
雨宮 透
はだか81
1981(昭和56)年
ブロンズ
- 4-30
雨宮 透
冬の子
1987(昭和62)年
ブロンズ
- 4-31
雨宮 透
八十八翁
1994(平成6)年
ブロンズ
- 4-32
雨宮 透
デッサン5
コンテ・紙
- 4-33
雨宮 透
デッサン6
コンテ・紙
- 第5章
西洋美術への憧れ**
- 5-1
フランシスコ・デ・ゴヤ
闘牛技(『闘牛技』No.1「昔のスペイン人が馬に乗って原野で牡牛を狩りする方法」)
1929年(第6版、初版は1816年)
銅版(アクアチント、エッチング)・紙
- 5-2
オノレ・ドーミエ
株主のみなさん(『カリカチュラーナ(ロベール・マケール)』より)
1836-38年
石版・紙
- 5-3
コンスタン・トロワイヨン
牛と犬
油彩・キャンバス
- 5-4
ジュール・デュプレ
風景
油彩・キャンバス
- 5-5
ジュール・デュプレ
小川の牛
油彩・キャンバス
- 5-6
ジョルジュ・ルオー
上流階級のご婦人は、天国で予約席に着けると信じている(『ミゼレーレ』より16)
1922年
銅版(エリオグラヴュール、アクアチント)・紙
- 5-7
ジョルジュ・ルオー
われらが癒されたるは、彼の受けたる傷によりてなり(『ミゼレーレ』より58)
1922年
銅版(エリオグラヴュール、リフトグランドエッチング)・紙
- 5-8
ジョルジュ・ルオー
高慢と無信仰のこの暗き時、見守りつづける地の果ての聖母(『ミゼレーレ』より56)
1927年
銅版(エリオグラヴュール、リフトグランドエッチング、アクアチント、ドライポイント)・紙
- 5-9
ジョルジュ・ルオー
版画集『ユビュおやじの再生』
1932年刊
銅版・紙
(1)扉絵
(2)困り者植民者
(3)候補者さんブドウバダブー
(4)政治屋
(5)選挙人さん
(6)聖歌隊員ユビュおやじ
(7)横顔
(8)解放された黒人
(9)植民地行政官
(10)呪文
(11)バンブーラ踊り
(12)裸婦
(13)熱帯の風景
(14)水晶
(15)イルマ嬢
(16)飛ぶ魚
(17)結婚
(18)ふたりの奥様
(19)サント=ニトゥーシユ
(20)劇場支配人
(21)坐る裸婦
(22)大きな帽子の娼婦
- 5-10
ジョルジュ・ルオー
『ユビュおやじの再生』
1932年刊
木口木版・紙/本 ed.89/305

- 5-11
マリー・ローランサン
わたしのジェルメーヌ
1931年
石版・紙
- 5-12
マルク・シャガール
『サーカス』より
1967年
石版・紙
- 5-13
マルク・シャガール
『神々の大地で』より
アナクレオン
1967年
石版・紙 ed.2/75
- 5-14
マルク・シャガール
裸婦
1978年
石版・紙 *épreuve d'artiste*
- 5-15
マルク・シャガール
ラ・リュージュとモンパルナス展
1978年
石版・紙
- 5-16
マルク・シャガール
ダビデとバテシバ
1978-81年
銅版(エッチング)、手彩色・紙 ed.3/30
- 5-17
マルク・シャガール
『ダビデの詩篇』(全32点)
1980年刊
銅版(エッチング、アクアチント)・紙/
ポートフォリオ ed.3/40
(1) 流れのほとりに(詩篇1)
(2) 私はわが王(詩篇2)
(3) 私は恐れない(詩篇3)
(4) たて琴をひくダビデ王(詩篇5)
(5) 讃歌をうたわせるダビデ王(詩篇6)
(6) 神は心の正しき者を救われる(詩篇7)
(7) 鳥のように山に逃げよ(詩篇11)
(8) 隠された燭台(詩篇13)
(9) わが守りの岩はほふべきかな(詩篇18)
(10) 母のふところに守られるごとく(詩篇22)
(11) 私は乏しいことがない(詩篇23)
(12) 若きときのこと(詩篇25)
(13) 強くあれ、雄々しくせよ(詩篇31)
(14) ダビデ王とバテシバ(詩篇32)
(15) 今私は何を待ちのぞみましょう(詩篇39)
(16) 喜びの訪れ(詩篇40)
(17) 勝利の天使(詩篇44)
(18) 私の心はうるわしい言葉であふれる(詩篇45)
(19) 大いなる王の都(詩篇48)
(20) 天使に教をこうダビデ王(詩篇51)
(21) 夜のふけるままに(詩篇63)
(22) 私が年老いて白髪になるとき(詩篇71)
(23) 彼は日と月とのあらんかぎり世々
生きながらえるように(詩篇72)
(24) 夜はわが手を伸べてたゆむことなく(詩篇77)
(25) ほめたたえつつその大庭に入れ(詩篇100)
(26) 海は逃げ、山は雄羊のようにおどる(詩篇114)
(27) 都に出るダビデ王(詩篇122)
(28) 天使をあおぐダビデ王(詩篇143)
(29) 祝福された都エルサレム(詩篇147)
(30) たて琴をもって歌え(詩篇150)
- (31) (詩篇16)
(32) (詩篇105)
- 5-18
マルク・シャガール
もうひとつの清澄に向って
1985年
石版・紙 ed.214/500

郡山市ホストタウン交流事業・福島中央テレビ開局50周年事業・福島民友新聞創刊125年事業
 ブリュエゲル展 画家一族150年の系譜

会 期:2019(平成31)年1月11日(金)~3月31日(日)

主 催:ブリュエゲル展実行委員会
 [郡山市立美術館、福島中央テレビ、
 福島民友新聞社]

協 賛:光村印刷、佐藤燃料、福島県商工信用組合、
 福島トヨタ自動車、ベスト学院進学塾、
 福島交通郡山支社

協 力:日本通運

企画協力:NTVヨーロッパ

特別協力:アルテミジア

後 援:ミヤギテレビ、山形新聞、山形放送、
 読売新聞東京本社福島支局

観 覧 料:一般1,500(1,200)円
 65歳以上・高校・大学生900(720)円
 ()内は20名以上の団体料金及び前売料金。

趣 旨

16世紀半ばのフランドルを中心に活動したピーテル・ブリュエゲル1世(1525/30~1569)に始まり、150年にわたって画家を生み出したブリュエゲル一族。油彩、版画、素描の約100点の出品作ほとんどは、欧米の個人コレクションとして通常は公開されていない貴重な作品で日本初公開。オランダはじめ西洋美術史に多大な影響をもたらしたブリュエゲル一族の系譜をたどりながら、17世紀フランドル絵画の魅力を紹介した。

ヨーロッパのプライベート・コレクションから借用されたブリュエゲル一族による油彩画と素描、版画約100点。

関連行事

- ブリュエゲル展ガイドツアー
 講師:山田五郎(評論家)
 日時:平成31年1月15日(火)午後1時30分から
 場所:企画展示室
- アート・トーク「中世ヨーロッパの色 ブリュエゲル作品に探る」
 講師:佐治ゆかり(当館館長)
 日時:平成31年1月26日(土)午後2時から
 場所:多目的スタジオ
- 美術講座「オランダの冬の暮らし」
 講師:ヨースト・クラルト(郡山市国際交流員)、中山恵理(当館主任主査)
 日時:2月9日(土)午後2時から
 場所:多目的スタジオ
- 美術講座「描かれた植物と生きものたち」
 講師:永山多貴子(当館主任主査)
 日時:平成31年2月16日(土)午後2時から
 場所:多目的スタジオ
- 「ブリュエゲル一族と工房制作」
 講師:田中有沙子(当館学芸員)
 日時:平成31年2月23日(土)午後2時から
 場所:多目的スタジオ
- レクチャーコンサート
 出演:圓谷俊貴(チェンバロ、ピアノ、レクチャー)、ノエ・乾(ヴァイオリン)
 日時:平成31年3月1日(金)午後6時30分から



ポスター



チラシ

場所：郡山市立中央公民館

○ミュージアム・コンサート「チェンパロのタバ」

出演：圓谷俊貴(チェンパロ)、久保田彰(チェンパロ製作者)、村松稔之(カウンターテナー)

○家族で楽しむブリューゲルクイズ

日時：会期中1月～2月中の土・日・祝日

場所：美術館内

対象：中学生以下のお子さんと保護者

関連記事

「1月ブリューゲル展 郡山市立美術館で東北唯一」、「『福島民友』平成30年5月13日付。

「500年前の息吹感じて 郡山市立美術館佐治ゆかり館長に聞く」、「『福島民友』平成30年5月13日付。

「1月からブリューゲル展 前売り券あす発売」、「『福島民友』平成30年9月21日付。

「ノエ・乾さん応援サポーターに ブリューゲル展で「細かな描写見て」、「『福島民友』平成30年10月6日付。

佐治ゆかり「画家一族 継承された魂 ブリューゲル展 来年1月から郡山で」、「『福島民友』平成30年11月28日付。

「ブリューゲル展に山田五郎さん登場 来年1月15日にガイドツアー」、「『福島民友』平成30年12月6日付。

中山恵理「ブリューゲル展1「鳥糞」 楽しい風景に潜む警告」、「『福島民友』平成30年12月18日付。

中山恵理「ブリューゲル展2「最後の審判」目奪われる地獄の世界」、「『福島民友』平成30年12月19日付。

永山多貴子「ブリューゲル展3「机上の花瓶に入ったチューリップと薔薇」、「『福島民友』平成30年12月20日付。

「ブリューゲル展 画家一族150年の系譜」、「『Me&You』2019年1月号、福島民友新聞社、平成30年12月20日。

永山多貴子「ブリューゲル展4「蝶、カブトムシ、コウモリの習作」大理石上で正確に描写」、「『福島民友』平成30年12月24日付。

田中有沙子「ブリューゲル展5「野外での婚礼の踊り」素朴な生き方への親愛」、「『福島民友』平成30年12月25日付。

「画家一族150年の系譜 ブリューゲル展」(全面広告)、『福島民友』平成30年12月26日付。

「画家一族150年の系譜 ブリューゲル展」(全面広告)、『福島民友』平成30年12月28日付。

「画家一族150年の系譜 ブリューゲル展」(全面広告)、『福島民友』平成30年12月30日付。

「ブリューゲル展 日本初上陸作品が続々」、「画家一族150年の系譜 ブリューゲル展」(全面広告)、『福島民友』平成31年1月1日付。

「ブリューゲル展設営進む」、「絵画、パネル 設営着々」、「『福島民友』平成31年1月9日付。

「ブリューゲル展あす開幕 前売り券きょうまで販売」、「『福島民友』平成31年1月10日付。

「ブリューゲル展きょう開幕 郡山市立美術館 画家一族の画業たどる」、「歴史的名画を紹介 神話や風景、静物画7テーマ」、「ブリューゲル展 画家一族150年の系譜」、「編集日記」、「『福島民友』平成31年1月11日付。

「一族の伝統作風に迫る 郡山で開幕 1世の世界観受け継ぐ」、「ブリューゲル展開幕」、「『福島民友』平成31年1月12日付。

「ブリューゲル一族の作品展示 郡山市立美術館」、「『福島民報』平成31年1月12日付。

「展示作品にヒントがあるよ 家族でクイズに挑戦」、「『福島民友』平成31年1月14日付。

「美の世界 目と耳で堪能 声優・石田彰さん音声ガイド」、「『福島民友』平成31年1月15日付。

「軽妙トーク 作品楽しむ 山田五郎さんガイドツアー」、「『福島民友』平成31年1月16日付。

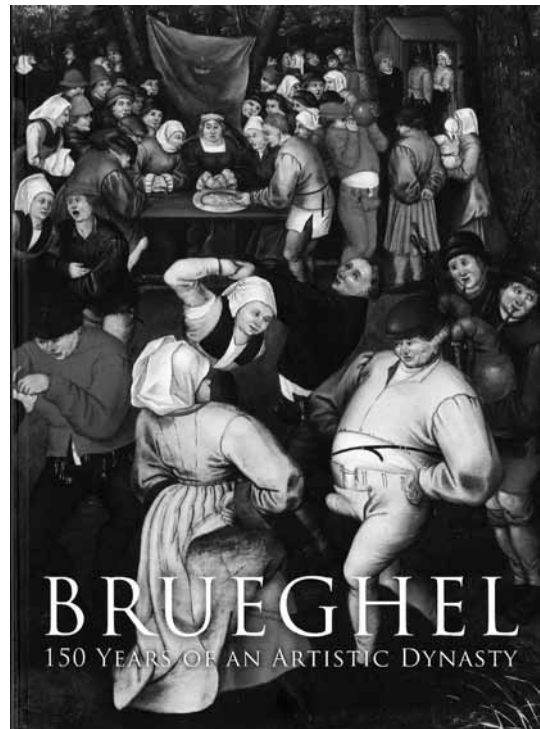
「ベルギー特産品人気 時代背景や風土触れる 物販コーナー」、「『福



前売りチラシ



クイズチラシ



図録

島民友]平成31年1月17日付。

「食で感じるベルギー 特別ランチセット券販売」、「『ブリューゲル展 画家一族150年の系譜』音楽イベント「レクチャーコンサート」」『福島民友]平成31年1月18日付。

「路線バスにPRマスク 福島交通 展示作品あしらう」、『福島民友]平成31年1月19日付。

「名画の中から「はいポーズ」」、『福島民友]平成31年1月20日付。

「ブリューゲル展 画家一族150年の系譜」、『Me&You]2019年2月号、福島民友新聞社、平成31年1月20日。

「ブリューゲル展 画家一族150年の系譜」(記事下広告)、『福島民友]平成31年1月23日付。

「色描き分けの秘密 26日に館長が講座」、『福島民友]平成31年1月24日付。

「画家一族150年の系譜 ブリューゲル展」(全面広告)、『こおりやま ゆう]第177号、平成31年2月号、福島民友新聞社郡山総支社、平成31年1月25日。

「作品鑑賞、色に注目 佐治郡山美術館長「赤の使い方うまい」」、『福島民友]平成31年1月27日付。

「作品鑑賞、色に注目 佐治郡山美術館長「赤の使い方うまい」」、『福島民友]平成31年1月27日付。

「初開催! ブリューゲル展 画家一族150年の系譜」、『福島民報]平成31年1月31日付。

「画家一族150年の系譜 ブリューゲル展」(全面広告)、『TOUCH]福島民友新聞社、平成31年1月31日。

「1万人突破」、『福島民友]平成31年2月2日付。

「ゴディバ買うと額絵贈呈」、『福島民友]平成31年2月3日付。

「あす美術講座 オランダの冬の遊び紹介」、『福島民友]平成31年2月8日付。

「オランダ 冬の生活紹介 郡山市国際交流員 クラルトさん講演」、『福島民友]平成31年2月10日付。

「来場者に号外贈呈 きょう、額絵サービスも」、『福島民友]平成31年2月11日付。

「絵画の動植物解説 きょう作品講座」、『福島民友]平成31年2月16日付。

「植物、生き物と「物語」 永山学芸員が背景を説明」、『福島民友]平成31年2月17日付。

「ここに注目 ブリューゲル展」、「きょう、23日、24日 参加賞つきクイズもあるよ!」、『みんゆうジュニア情報局]福島民友新聞社、平成31年2月17日。

「あす郡山市立美術館講座 絵画制作の様子紹介」、『福島民友]平成31年2月22日付。

「来場者2万人達成 いわきの比佐さん、酒井さん」、『福島民友]平成31年2月23日付。

「一族の作風紹介 「それぞれの特徴楽しんで」、『福島民友]平成31年2月24日付。

「フランドル音楽解説 チェンバロ、バイオリン共演」、『福島民友]平成31年3月2日付。

「クッキーやポストカードの特別セット ホワイトデーにいかが」、『福島民友]平成31年3月8日付。

「来場者3万人突破 菅原さん家族に記念品」、『福島民友]平成31年3月20日付。

「一族の画業 来場者魅了 あす作品展閉幕」、『福島民友]平成31年3月30日付。

「ブリューゲル展きょう閉幕」、『福島民友]平成31年3月31日付。

「画業最後まで魅了 ブリューゲル展が閉幕」、『福島民友]平成31年4月1日付。



オープニング(平成31年1月10日)

出品目録

番号	作者名	作品名	制作年	語法・材質	所蔵先	サイズ(cm)
第1章 宗教と道徳						
1	ヘラルト・ダーフィット	エジプト逃避途上の休息	制作年不詳	油彩、テンペラ/板	個人蔵	45 x 36.4
2	ヨース・ファン・クレーフェ	サクランボの聖母	制作年不詳	油彩/板	個人蔵	62.8 x 51.8
3	ヤン・ファン・ドールニク (通称「1518年の画家」)	三連祭壇画 東方三博士の礼拝(中央) キリストの降誕(左翼)とキリス トの割礼(右翼)	制作年不詳	油彩/板	個人蔵	77 x 106
4	ピーテル・クック・ファン・ アールストと工房	三連祭壇画 東方三博士の礼拝(中央) 受胎告知(左翼)とキリストの 降誕(右翼)	1540-1550年頃	油彩、テンペラ/板	個人蔵	中央: 88.5 x 57 両翼: 各88 x 24.5
5	ヒエロニムス・ボス[下絵] コルネリス・ファン・ティー ネン[彫版]	告解の火曜日一ワッフルを焼 く人のいるオランダの厨房	1650年頃	エッチング、エン グレーヴィング、 インク	個人蔵	22.5 x 29.1
6	ピーテル・ブリュエゲル1世 [下絵] ヤンとルカス・ファン・ デューテクム[彫版]	エマオへの巡礼	1555年頃	エッチング、エン グレーヴィング、 インク	個人蔵	32.4 x 42.7
7	ピーテル・ブリュエゲル1世 [下絵] フィリップス・ハレ(帰属) [彫版]	希望	1560年	エッチング、エン グレーヴィング、 インク	個人蔵	22.3 x 28.6
8	ピーテル・ブリュエゲル1世 [下絵] フィリップス・ハレ(帰属) [彫版]	節制	1560年頃	エッチング、エン グレーヴィング、 インク	個人蔵	20.8 x 28.6
9	ピーテル・ブリュエゲル1世 [下絵] ピーテル・ファン・デル・ヘ イデン[彫版]	最後の審判	1558年	エッチング、エン グレーヴィング、 インク	個人蔵	22.5 x 29.4
10	ピーテル・ブリュエゲル1世 [下絵] ピーテル・ファン・デル・ヘ イデン[彫版]	金銭の戦い	1570年以降 (初版) 1650年以降 (再版)	エッチング、エン グレーヴィング、 インク	個人蔵	23.6 x 31.2
11	ヤン・マンデイン	キリストの冥府への降下	制作年不詳	油彩/板	個人蔵	70.5 x 92
12	ピーテル・ブリュエゲル1世 と工房	キリストの復活	1563年頃	油彩/板	個人蔵	107 x 73.8
13	マルテン・ファン・ファルケ ンボルフ ヘンドリック・ファン・クレーフェ	バベルの塔	1580年頃	油彩/カンヴァス	個人蔵	53 x 76
第2章 自然へのまなざし						
14	ヤン・ブリュエゲル1世	荒野の聖ヒエロニムス	1597-1600年頃	油彩/銅板	個人蔵	11.3 x 14.9
15	ヨース・デ・モンベル セバステリアン・フランクス	山岳風景	1630年頃	油彩/板	個人蔵	43 x 34
16	ピーテル・ブリュエゲル1世 ヤーコブ・グリンメル	種をまく人のたとえがある風景	1557年	油彩/板	個人蔵	52 x 68.5
17	ヤン・ブリュエゲル1世	農民と動物のいる村の風景	1609年	油彩/銅板	個人蔵	11.2 x 16.8
18	ヤン・ブリュエゲル1世	水浴をする人たちのいる川の 風景	1595-1600年頃	油彩/銅板	個人蔵	17 x 22
19	ヤン・ブリュエゲル1世	川の風景	1604-1606年頃 (?)	油彩/板	個人蔵	18.7 x 24.4
20	ヨセフ・ファン・ブレダール	川の風景	1700-1710年頃	油彩/銅板	個人蔵	32 x 41
21	ヤン・ブリュエゲル2世	アントウェルペンを臨む川の 風景	1620年頃	茶色のインク/紙	個人蔵	22 x 32
22	ヤン・ブリュエゲル2世	風車と聖堂のある川の風景	1625-1630年頃	茶色のインク/明 るい茶色の紙	個人蔵	14.8 x 24.6
23	ヤン・ブリュエゲル1世	旅人と風車のある風景	1604-1605年頃	ペン、茶色のインク、 黒チョーク、茶色と 青のウォッシュ/紙	個人蔵	24.4 x 33.3
24	ヤン・ブリュエゲル2世	ボートの浮かぶ川辺の農村風景	1635-1640年	茶色のインク/明 るい茶色の紙	ブリュッセル、 バルク・ロク マリア伯爵	15.5 x 30.8
25	ヤーコブ・グリンメル	フランドルの農村	1565-1570年頃	ペン、黒と茶色の インク、灰色と緑の ウォッシュによるハイ ライト/紙	個人蔵	19.5 x 29
26	ヤーコブ・グリンメル マルテン・ファン・クレーフェ	野外で働く農民のいるフラン ドルの農村	1565-1570年頃	油彩/板	個人蔵	44 x 59
27	ヤン・ブリュエゲル2世	市場からの帰路につく農民たち	1630年頃	油彩/板に貼り付け た銅板	個人蔵	12.7 x 15
28	ヨセフ・ファン・ブレダール	市場からの帰路につく農民たち	1700-1710年頃	油彩/銅板	個人蔵	27 x 35
29	ヤン・ブリュエゲル1世(?) ルカス・ファン・ファルケン ボルフ	アーチ状の橋のある海沿いの町	1590-1595年頃	油彩/板	個人蔵	33.3 x 54.8

番号	作者名	作品名	制作年	語法・材質	所蔵先	サイズ(cm)
30	ヤン・ブリューゲル1世周辺の画家	狩人のいる川の風景	1610-1620年頃	油彩／銅板	個人蔵	30.1 x 40.3
31	ヤン・ブリューゲル2世	田舎道で水を飲む牛	1635年頃	油彩／板	ロンドン、 ブライアン・ L・コートサー	26 x 36.5
32	ヤン・ブリューゲル2世 ヨース・デ・モンベル	旅行者のいる山岳風景	1625-1630年頃	油彩／板	個人蔵	37.8 x 69.6
33	セバスティアン・フランク	野に向かう農民のいる風景	1620-1625年頃	油彩／板	個人蔵	66 x 97
34	マールテン・ファン・クレーフェ	よき羊飼いのたとえ	1578-1580年頃	油彩／板	個人蔵	28.5 x 47
35	ヤン・ブリューゲル2世	聖ウベルトゥスの幻視	1630年頃	油彩／カンヴァス	個人蔵	66.5 x 92.5
36	ヤン・ブリューゲル1世	エジプト逃避途上の休息	1602-1605年頃	油彩／板に貼り付けた銅板	個人蔵	15 x 11.5
37	ヤン・ブリューゲル2世	風景の中の聖母子と天使	1630年頃	油彩／板	個人蔵	55 x 75
38	ヤン・ブリューゲル2世	聖母子と洗礼者ヨハネと天使のいる森の風景	1645-1650年頃	油彩／カンヴァス	個人蔵	115.5 x 167.5

第3章 冬の風景と城砦

39	ヤン・ブリューゲル1世	鳥畏(表) スケートをする人のいる冬の川の風景(裏)	1595-1600年頃	茶色のインク／明るい茶色の紙	個人蔵	20.6 x 32.3
40	ピーテル・ブリューゲル2世	鳥畏	1601年	油彩／板	個人蔵	37.5 x 56.6
41	ヤン・ブリューゲル1世	アウデケルの城	1595-1600年頃	茶色のインク／紙	個人蔵	12.4 x 31.5
42	ヤン・ブリューゲル1世	城砦のある川辺の村	1615年頃	茶色のインク／青灰色の紙	個人蔵	25.7 x 45
43	ヤン・ブリューゲル1世	テルヴェーレンの城	1595-1600年頃	茶色のインク／明るい茶色の紙	個人蔵	15.8 x 17.9
44	ヤン・ブリューゲル1世	ローマのカッファレリ・クレメンティーノ宮	1589-1600年頃	黒のチョーク、ペン、茶色のインク／茶色の紙	個人蔵	18.7 x 27.2
45	マールテン・ファン・クレーフェ	嬰兒虐殺を伴う冬の風景	1570年頃	油彩／板	個人蔵	74 x 106.5
46	ヤン・ブリューゲル2世	冬の市場への道	1625年頃	テンペラ／紙	個人蔵	14 x 23
47	ヤン・ブリューゲル2世	スケートをする人がいるフランドルの農村	1630-1635年頃	油彩／板	個人蔵	49 x 64
48	フランス・デ・モンベル ヤン・ブリューゲル2世	冬のフランドルの農村	制作年不詳	油彩／板	個人蔵	46 x 59.5

第4章 旅の風景と物語

49	ピーテル・ブリューゲル1世 [下絵] フランス・ハイス[彫版]	イカロスの墜落の情景を伴う3本マストの武装帆船	1561-1562年頃	エッチング、エングラーヴィング、インク	個人蔵	22.1 x 28.6
50	ピーテル・ブリューゲル1世 [下絵] フランス・ハイス[彫版]	港を出る4本マストの武装帆船	1561年頃	エッチング、エングラーヴィング、インク	個人蔵	22.2 x 27.7
51	ピーテル・ブリューゲル1世 [下絵] フランス・ハイス[彫版]	港へ向かう4本マストの武装帆船	1561-1562年頃	エッチング、エングラーヴィング、インク	個人蔵	28.8 x 21.6
52	ヤン・ブリューゲル1世	城砦のそばの小船	1600年頃	黒チョーク、ペン、茶色のインク、水彩によるハイライト／紙	個人蔵	24.7 x 40
53	ヤン・ブリューゲル1世	山沿いの海岸線をいく船団	1590-1595年頃	黒チョークの上に赤と青のチョーク／紙	個人蔵	21 x 28.8
54	ヤン・ブリューゲル1世	港に停泊する釣り船	1620年頃	茶色のインク、ウォッシュ／明るい茶色の紙	個人蔵	11.6 x 18.6
55	ヤン・ブリューゲル1世	川の風景	1620年頃	茶色のインク、ウォッシュ／明るい茶色の紙	個人蔵	11.6 x 18.6
56	ヤン・ブリューゲル1世	田舎道をいく馬車と旅人	1610年頃	油彩／銅板	個人蔵	12.2 x 20
57	ヤン・ブリューゲル2世	市場への道	1630年頃	ペン、茶色のインク、青と灰色のウォッシュ／明るい茶色の紙	個人蔵	18.6 x 28.4
58	ピーテル・ブリューゲル2世	農民がいる丘の風景	1616年頃	茶色のインク／明るい茶色の紙	個人蔵	19.4 x 30.5
59	ヤン・ブリューゲル1世	旅人がいる村の通り	1613-1615年頃	ペン、茶色のインク／明るい茶色の紙	ブリュッセル、 バルク・ロク マリア伯爵	17.4 x 29.9
60	ヤン・ブリューゲル1世	橋のある運河沿いの家屋と馬車(a)	1615年頃	ペン、茶色のインク、青のハイライト／明るい茶色の紙	個人蔵	14.6 x 20.4
61	ヤン・ブリューゲル1世	橋のある運河沿いの家屋と馬車(b)	1615年頃	ペン、茶色のインク、青のハイライト／明るい茶色の紙	個人蔵	14.6 x 20.4
62	ヤン・ブリューゲル1世	馬と荷車(準備素描)	1610年頃	黒チョークの上に赤と青のチョーク／紙	個人蔵	9.7 x 19.8
63	ヤン・ブリューゲル2世	すれ違う旅行者たち	1630年頃	茶色のウォッシュ、茶色のインク／紙	個人蔵	17 x 16.7

番号	作者名	作品名	制作年	語法・材質	所蔵先	サイズ(cm)
64	ダーフィット・テニールス2世	宿屋の農民	1655-1660年頃	油彩／板	個人蔵	30.5 x 25.2

第5章 寓意と神話

65	ヤン・ブリューゲル2世 バルトロメオ・カヴァロツィ	花輪に囲まれた聖家族	1620-1625年頃	油彩／板	個人蔵	104 x 74
66	ヤン・ブリューゲル1世	ノアの箱舟への乗船	1615年頃	油彩／板	デッサウ、 アンハルト 絵画館	43.9 x 64.5
67	ヤン・ブリューゲル2世	地上の楽園	1620-1625年頃	油彩／銅板	個人蔵	35.5 x 50
68	ヤン・ブリューゲル2世 ヘンドリック・ファン・パーレン	四大元素一大気	1630年頃	油彩／板	個人蔵	41.5 x 58.5
69	ヤン・ブリューゲル2世 ヘンドリック・ファン・パーレン	四大元素一火	1630年頃	油彩／板	個人蔵	41.5 x 58.5
70	ヤン・ブリューゲル2世	平和の寓意	1640年代	油彩／カンヴァス	個人蔵	66.5 x 90.6
71	ヤン・ブリューゲル2世	戦争の寓意	1640年代	油彩／カンヴァス	個人蔵	69.2 x 91
72	ヤン・ブリューゲル2世	嗅覚の寓意	1645-1650年頃	油彩／カンヴァス	個人蔵	57 x 82.5
73	ヤン・ブリューゲル2世	聴覚の寓意	1645-1650年頃	油彩／カンヴァス	個人蔵	57 x 82.5
74	ヤン・ブリューゲル2世	愛の寓意	1648-1650年頃	油彩／銅板	個人蔵	88 x 104
75	ピーテル・パウル・ルーベンスと工房 フランス・スナイデルス	豊穡の角をもつ3人のニンフ	制作年不詳	油彩／カンヴァス	個人蔵	207 x 153
76	アンブロシウス・ブリューゲル	四大元素一大地	1645年頃	油彩／カンヴァス	個人蔵	37 x 56.5
77	アンブロシウス・ブリューゲル	四大元素一水	1645年頃	油彩／カンヴァス	個人蔵	36 x 52
78	アンブロシウス・ブリューゲル	四大元素一大気	1645年頃	油彩／カンヴァス	個人蔵	36 x 52
79	アンブロシウス・ブリューゲル	四大元素一火	1645年頃	油彩／カンヴァス	個人蔵	37 x 56.5
80	アブラハム・ブリューゲル ルイージ・ガルツィ	果物の静物がある夏の寓意	1670-1675年	油彩／カンヴァス	個人蔵	97.2 x 72.7
81	アブラハム・ブリューゲル ルイージ・ガルツィ	正義と平和の寓意	1660年頃	油彩／カンヴァス	個人蔵	148.5 x 130

第6章 静物画の隆盛

82	ヤン・ブリューゲル1世 ヤン・ブリューゲル2世	机上の花瓶に入ったチューリップと薔薇	1615-1620年頃	油彩／板	個人蔵	40 x 29.2
83	ヤン・ブリューゲル2世	ガラスの花瓶に入った花束	1637-1640年頃	油彩／板	個人蔵	54.3 x 36
84	ヤン・ブリューゲル2世	籠と陶器の花瓶に入った花束	1640-1645年頃	油彩／板	個人蔵	53 x 80
85	ヤン・ブリューゲル2世 フランス・フランケン2世	彫刻と鍍金の施された花瓶に入った花束	1625-1630年頃	油彩／板	個人蔵	116 x 91
86	クリストッフエル・ファン・デン・ベルヘ	青い花瓶に入った種々の花々	1620年頃	油彩／銅板	個人蔵	35.7 x 28.6
87	アンブロシウス・ブリューゲル	ガラスの花瓶に入った花束	1650-1660年頃	油彩／銅板	個人蔵	25 x 20.5
88	アンブロシウス・ブリューゲル	陶器の花瓶に入った花の静物	1645年頃	油彩／板	個人蔵	20.5 x 11.5
89	アンブロシウス・ブリューゲル	花瓶に入ったチューリップとダリア	1645-1650年頃	油彩／板	個人蔵	24.5 x 14.5
90	ヤン・ピーテル・ブリューゲル	花の静物	1661年	油彩／カンヴァス	個人蔵	97 x 78.5
91	アブラハム・ブリューゲル	果物と東洋風の鳥	1670年	油彩／カンヴァス	個人蔵	70 x 84.5
92	アブラハム・ブリューゲル	果物の静物がある風景	1670年	油彩／カンヴァス	個人蔵	97 x 136.5
93	ヤン・ファン・ケッセル1世	蝶、カブトムシ、コウモリの習作	1659年	油彩／大理石	個人蔵	38.4 x 45.7
94	ヤン・ファン・ケッセル1世	蝶、コウモリ、カマキリの習作	1659年	油彩／大理石	個人蔵	38.4 x 45.7

第7章 農民たちの踊り

95	ピーテル・ブリューゲル1世 [下絵] ピーテル・ファン・デル・ヘイデン[彫版]	春	1570年	エッチング、エング レーヴィング、インク	個人蔵	17 x 21.7
96	ピーテル・ブリューゲル2世	聖霊降臨祭の花嫁	1616年以降	油彩／板	デッサウ、 アンハルト 絵画館	47.2 x 74.3
97	ピーテル・ブリューゲル2世	七つの慈悲の行い	1616年	油彩／板	個人蔵	43 x 59
98	ピーテル・ブリューゲル2世	バグパイプ奏者と旅人のいる村	1580-1590年頃	油彩／板	個人蔵	25.5 x 36.5
99	マールテン・ファン・クレーフェ	強盗に襲われる農民の夫婦	1570-1577年頃	油彩／板	個人蔵	33 x 47.8
100	マールテン・ファン・クレーフェ	農民の婚礼(6点連作)	1558-1560年頃	油彩／板	個人蔵	各33.8 x 68.5
101	ピーテル・ブリューゲル2世	野外での婚礼の踊り	1610年頃	油彩／板	個人蔵	74.2 x 94

Ⅲ 教育普及事業

1) 美術館文化講座「アート・テーク」 会場：多目的スタジオ 午後2時～ 4回 参加者数 395名

文化資源としてのアートという視点から独自のテーマを設定し「アートを捉える」、「アートから捉える」ことを目的とした年6回の講座だが、本年度は6月まで臨時休館のため4回の開催となった。講師は当該領域の第一人者および最先端で研究・活動する講師を招聘した。

回	実施日時	講座名	会場	講師	参加者数
1	平成30年8月1日(水) 午後6時～	演じること、語ること	多目的スタジオ	白石加代子(女優)、松岡和子(翻訳家・演劇評論家)	150
2	9月29日(土) 午後2時～	美術館のたのしみ	多目的スタジオ	池内 紀(ドイツ文学者・エッセイスト)	72
3	11月18日(日) 午後2時～	ヒトと動物の比較美学	多目的スタジオ	脇田真清(京都大学霊長類研究所助教)	53
4	平成31年1月26日(土) 午後2時～	中世ヨーロッパの色 ブリュゲル作品に探る	多目的スタジオ	佐治ゆかり(当館館長)	120
合 計					395



白石加代子氏(右)と松岡和子氏(平成30年8月1日)



池内紀氏(平成30年9月29日)



脇田真清氏(平成30年11月18日)



佐治ゆかり館長(平成31年1月26日)

2) 講演会 会場：多目的スタジオ 午後2時～ 4回 参加者数 482名

回	実施日	講座名	講師	開催企画展	参加者数
1	平成30年 7月16日(月・祝)	風の歌声・光の夢—ターナー 芸術の真髄	高階秀爾(大原美術館館 長・東京大学名誉教授)	ターナー 風景の詩	210
2	7月21日(土)	ターナーが見たもの/ターナーを見た もの—19世紀イギリス社会から考える	森 正人(三重大学教授)		75
3	8月19日(日)	光は海峡を越えて:ターナーのロ マン主義からモネの印象主義へ	千足伸行(広島県立美術館 館長・成城大学名誉教授)		143
4	11月3日(土・祝)	今泉亀撤と岩手の美術	中村光紀(萬鉄五郎記念 美術館館長)	〈眼の人〉今泉亀撤の コレクション	54
合 計					482



高階秀爾氏(平成30年7月16日)



森 正人氏(平成30年7月21日)



千足伸行氏(平成30年8月19日)



中村光紀氏(平成30年11月3日)

3) 美術講座 午後2時～ 9回 参加者数 482名

回	実施日	演題	講師	会場	開催企画展	参加者数
1	平成30年 8月26日(日)	ターナーと崇高な 風景	富岡進一(当館主任学芸 員)	多目的スタジオ	ターナー 風景の詩	79
2	9月8日(土)	ターナーと絵画技 法	新田量子(当館学芸員)	多目的スタジオ		103
3	9月30日(日)	今泉亀撤とそのコ レクション	菅野洋人(当館主任主査)	講義室	〈眼の人〉 今泉亀撤の コレクション	8
4	10月20日(土)	今泉亀撤と彫刻	新田量子(当館学芸員)	講義室		12
5	11月24日(土)	今泉コレクション を愉しむ	杉原 聡(当館主任主査)	講義室		18
6	12月8日(土)	今泉亀撤と猪熊弦 一郎	田中有沙子(当館学芸員)	講義室		16
7	平成31年 2月9日(土)	オランダの冬の暮 らし	ヨースト・クラルト(郡山市国 際交流員)、中山恵理(当館主 任主査)	多目的スタジオ	ブリュッセル 展	90
8	2月16日(土)	描かれた植物と生 きものたち	永山多貴子(当館主任主 査)	多目的スタジオ		78
9	2月23日(土)	ブリュッセル一族 と工房制作	田中有沙子(当館学芸員)	多目的スタジオ		78
合 計						482



ヨースト・クラルト氏(平成31年2月9日)

4) ギャラリートーク 会場：企画展示室 8回 参加者数 208名

回	実施日	講師	開催企画展	参加者数
1	平成30年7月22日(日) 午後2時～	富岡進一(当館主任学芸員)	ターナー 風景の詩	38
2	7月29日(日) 午後2時～	新田量子(当館学芸員)		32
3	9月22日(土) 午後2時～	菅野洋人(当館主任主査)	〈眼の人〉今泉亀撤の コレクション	25
4	10月8日(月・祝)午後2時～ ※特別ギャラリートーク	吉田尊子(岩手県立美術館 学芸普及課長)		23
5	10月27日(土)	新田量子(当館学芸員)		17
6	11月10日(土)	田中有沙子(当館学芸員)		12
7	12月1日(土)	杉原 聡(当館主任主査)		8
8	平成31年1月15日(火)午後1時30分～ ※ブリューゲル展ガイドツアー	山田五郎(評論家)	ブリューゲル展	50
合 計				208



吉田尊子氏(右)(平成30年10月8日)



山田五郎氏(平成31年1月15日)

5) ワークショップ 会場：多目的スタジオ他 4回 参加者数 107名

回	実施日	講座名	講師	参加者数
1	平成30年8月4日(土)	第13回風土記の丘発 図工&美術の時間へようこそ!	小中学校教諭	67
2	8月18日(土)	ターナーに挑戦! 水彩で風景を描く	守田篤博(画家)	15
3	12月1日(土)、 2日(日)	初めての水墨画 墨と和紙で遊ぶ、描く、表現する	荒井恵子(画家)	15
4	12月22日(土)、 23日(日・祝)	木彫体験 犬を彫ろう!	馬場稔郎(彫刻家)	10
合 計				107

公開ワークショップ

「第13回風土記の丘発 図工&美術の時間へようこそ!」

「第17回風土記の丘の美術展～郡山市内の小学生の作品展～」関連企画。小・中学校で行われている図工と美術の授業内容を紹介するワークショップを自由参加型で実施した。

講 師：小中学校の教諭

日 時：平成30年8月4日(土)午前11時～正午、午後2時～午後3時

会 場：多目的スタジオ

参加者：67名



「ターナーに挑戦！ 水彩で風景を描く」

「ターナー 風景の詩」関連企画。絵具と水があれば描ける水彩画。そのなかでも透き通るような美しい色合いが魅力である透明水彩で、美術館の庭を描いた。

講師：守田篤博(画家)

日時：平成30年8月18日(土)午前10時～午後3時

会場：創作スタジオ、庭

参加者：15名



「初めての水墨画 墨と和紙で遊ぶ、描く、表現する」

墨、和紙、筆の材料や性質について学んだ後、丸と線の様々な描き方を身につけ、石、綿、アルミホイルの描き分けや、素材の異なる瓶などの描写を行った。

講師：荒井恵子(画家)

日時：平成30年12月1日(土)午後1時～午後5時、2日(日)午前10時～午後4時

会場：創作スタジオ

参加者：15名



「木彫体験 犬を彫ろう！」

木材、彫刻刀についての基本的な解説の後、犬の正面、左右、上からの図を木材に描き写し、のこぎり、彫刻刀を使って彫り進めた。最後にアクリル絵具で彩色して完成させた。

講師：馬場稔郎(彫刻家)

日時：平成30年12月22日(土)午後1時～午後5時、23日(日・祝)午前10時～午後4時

会場：創作スタジオ

参加者：10名



6) ミュージアム・シアター 会場：多目的スタジオ 午後2時～ 2回 参加者数 181名

映画もまた芸術の一表現手段であるという観点から、一般上映館ではあまり上映されない過去の名作や実験映画、美術映画などを上映する。

回	実施日	上映時間	上映作品	監督・出演等	関連企画展	参加者数
1	平成30年 7月28日(土)	150分	「ターナー、光に愛を求めて」	監督:マイク・リー 出演:ティモシー・スポール他 2014年	ターナー 風景の詩	123
2	平成30年 11月11日(日)	116分	「宮澤賢治 その愛」	監督:神山征二郎 脚本:新藤兼人 出演:三上博史他 1996年	〈眼の人〉今泉亀撤のコレクション	58
合 計						181

7) ミュージアム・コンサート 午後6時30分～ 2回 参加者数 630名

「ブリューゲル展」関連イベントとして、郡山市中央公民館多目的ホールにて、父親が福島出身でブリュッセル在住のヴァイオリニスト、ノエ・乾氏と福島県古殿町出身のチェンバロ奏者、圓谷俊貴氏を招いてレクチャー・コンサートを、当館階段ホールにて圓谷氏らを招いてミュージアム・コンサートを開催した。

回	実施日	タイトル	出演者	会場	参加者数
1	平成31年 3月1日(金)	レクチャー・コンサート	圓谷俊貴(チェンバロ、ピアノ、レクチャー)、ノエ・乾(ヴァイオリン)	郡山市中央図書館 多目的ホール	500
2	3月27日(水)	ミュージアム・コンサート 「チェンバロの夕べ」	圓谷俊貴(チェンバロ)、久保田彰(チェンバロ製作家)、村松稔之(カウンターテナー)	当館階段ホール	130
合 計					630



レクチャー・コンサート(平成31年3月1日)



チェンバロの夕べ(平成31年3月27日)

8) 学校との連携授業

①第17回風土記の丘の美術展 ～郡山市内の小学生による作品展～
 主催：郡山市立美術館、郡山市小学校造形教育研究会
 郡山市内の小学生が図工教科の授業で制作した造形作品を美術館内に展示した。子どもたちの造形活動を促し、教科研究に役立てるとともに、市民が美術館に身近に接する機会をつくる目的で毎年開催している。

会期：平成30年7月16日(月・祝)～8月19日(日)

1期(7月16日～7月22日)片平、喜久田、熱海、熱海石筵分校、安子島、湖南、富田、富田西、桑野、小山田

2期(7月24日～7月29日)安積第一、安積第二、永盛、守山、御代田、高瀬、谷田川、田母神、栃山神、橘、小原田、桜

3期(7月31日～8月5日)日和田、高倉、行健、行健第二、明健、小泉、行徳、富田、富田東、西田学園

4期(8月7日～8月12日)柴宮、穂積、三和、多田野、多田野堀口分校、河内、開成、薫、大槻、大成、朝日が丘、ザベリオ学園

5期(8月14日～8月19日)金透、芳山、芳賀、桃見台、赤木、白岩、東芳、大島、緑ヶ丘第一、宮城、海老根、御館

参加校：56校

作品点数：336点

会場：美術館ロビー

観覧者数：5,431名

②第10回風土記の空

郡山市内の中学校美術部活動の中で制作された作品を美術館内に展示した。この展示会は、美術館と中学校との連携と美術活動の活性化を目的に実施し、額装や展示等も中学生が行っている。

参加校／日和田中学校、行健中学校、郡山第四中学校、郡山第五中学校、緑ヶ丘中学校、小原田中学校(計6校)

会期：平成30年11月20日(火)～12月24日(月・休)

会場：美術館ロビー

観覧者数：2,351名

③鑑賞学習対応

幼稚園1園90名 小学校15校716名 中学校27校2,789名

高等学校4校101名 大学・専門学校他3校77名

合計50校 3,773名



風土記の丘の美術展



博物館実習生たちによる作品展示(平成30年8月6日)



中学生による作品展示(平成30年11月10日)

④講師派遣

- ・平成30年度郡山市小学校造形教育研究会・研究会
 日 時：平成30年5月16日(水)午後3時～午後5時
 場 所：安積総合学習センター
 講 師：永山多貴子(当館主任主査)
 参加者数：65名
- ・平成30年度郡山市小学校教育研究会図画工作科部会研究会
 日 時：平成30年6月5日(火)午後2時～午後4時
 場 所：大安場史跡公園
 講 師：永山多貴子(当館主任主査)
 参加者数：70名

9) 対外協力

①博物館実習(1件)

- 期 間：平成30年7月31日(火)～8月10日(金)
 受入校及び実習生数：3校5名
 郡山女子大学短期大学部 2名／東北芸術工科大学
 芸術学部 1名／長岡造形大学造形学部 2名
- 実習内容：作品の取扱(平面・立体)、各概論(収集・保存・展
 示・普及)、機器取扱(カメラ・温湿度計など)、野
 外彫刻洗浄、ワークショップ補助、体験実習(ギャ
 ラリートーク、企画展立案及びプレゼンテーション)



博物館実習生たちによる野外彫刻洗浄(平成30年8月7日)

②ジュニア・インターンシップ(2件)

- 期 間：平成30年10月23日(火)～25日(木)
 受入校及び実習生数：福島県立田村高等学校 2名
- 期 間：平成30年11月13日(火)～15日(木)
 受入校及び実習生数：福島県立湖南高等学校 1名
- 実習内容：概論(美術館に係る職業について)、作業補助
 (広報作業、図書整理など)、体験実習(教材使用、
 監視業務等)

③福島県博物館連絡協議会開催

- ・理事会
 日 時：平成31年2月7日(木)午前11時30分から
 場 所：講義室
- ・研修会「施設保存について 郡山市立美術館の場合」
 講 師：佐藤秀彦(当館副館長)
 日 時：平成31年2月7日(木)午後1時から
 場 所：多目的スタジオ、機械室等
- ・「ブリューゲル展」概要解説・見学
 講 師：中山恵理(当館主任主査)
 日 時：平成31年2月7日(木)午後3時から
 場 所：多目的スタジオ、企画展示室
 参加者数：26名



福島県博物館連絡協議会研修会(平成31年2月7日)



地下機械室見学(平成31年2月7日)

10) 休館中の事業（平成30年5月まで）

平成29年10月からの臨時休館の間に続いた事業。

①アート・カフェ

場 所：juju130CAFE

時 間：午前11時～正午

休館中の普及事業として「アート・カフェ」と題した講座を、敷地内のカフェで開催した。昨年度に引き続き「わたしのおすすめ！ とっておきの話」と題して、各学芸員と参加者が懇談しながら美術に親しむ機会とした。

・美術館の舞台裏!

作品の収集や保存、展覧会企画・展示方法等について、美術館や学芸員の仕事の裏話を紹介した。

講 師：杉原 聡(当館主任主査)

開 催 日：平成30年4月7日(土)

参加者数：12名



・偉人・傑人・珍品・奇品!!

過去25年約150本の企画展から、関わった異能・異色の人物(肖像画含む)や、デュシャンの《泉》など、これが美術? という作品などをセレクトして紹介した。

講 師：鈴木誠一(当館学芸課長)

開 催 日：平成30年4月14日(土)

参加者数：13名



・花をめぐるアート

花を中心に、植物を主題にした絵画や工芸品などについてトークを行なった。バーン＝ジョーンズの《フローラ》をはじめ、当館コレクションや、これまで開催された花に関連した展覧会を話題にした。

講 師：永山多貴子(当館主任主査)

開 催 日：平成30年4月28日(土)

参加者数：9名



②美術館館外プロジェクト

・考古×美術 大安場史跡公園とのコラボレーション

ワークショップ「ミツロウクレヨンで遊ぼう!」&「紙切りアートにチャレンジ!」

大安場史跡公園で開催された「こどもオリンピック」(5月3日～5日)にブース参加し、ワークショップ2種を行なった。ミツロウと食品色素、植物色素等を混合させて無害安全なクレヨンづくりを行なう内容及び江戸時代発祥の紋切り遊びをアレンジした紙切りの内容であった。

講 師：クレヨン 杉原 聡(当館主任主査)

田中有沙子(当館学芸員)

紙切り 中山恵理(当館主任主査)

永山多貴子(同)

日 時：平成30年5月3日(木・祝)、4日(金・祝)

午前9時～午後4時

場 所：大安場史跡公園

参加者数：420名(3日：200名、4日：220名)



・郡山市立美術館所蔵品展「逢瀬で魅せます 日本とイギリス」
逢瀬地区で所蔵作品展を開催し、この地域と関係の深い日本画家渡辺晨畝の資料展示も併せて行った。開催中にギャラリートークを各日2回行った。

日 時：平成30年4月21日(土)、22日(日)午前9時～午後5時
場 所：郡山市立逢瀬公民館1階大集会室
参加者数：313名



・社会×美術 男女共同参画課・さんかくプラザとのコラボレーション

ワークショップ「マスキングテープ・アートを楽しむ」
自由に貼ってはがせる特徴を活かしながら、様々な色彩のマスキングテープを台紙に貼り込み、オリジナルの平面作品を制作した。

講 師：永山多貴子(当館主任主査)、新田量子(当館学芸員)
日 時：平成30年5月19日(土)午後1時30分～午後3時
場 所：さんかくプラザ
参加者数：16名



・美術×美術 諸橋近代美術館とのコラボレーション
ワークショップ「だまし絵を見る・描く・つくる」
諸橋近代美術館で開催中の企画展「夢幻×無限～エッシャー、ダリ、福田繁雄～」に関連し、だまし絵への理解を深めながら、錯視のしくみを利用した平面作品と立体作品を制作した。

講 師：富岡進一(当館主任学芸員)、新田量子(当館学芸員)
日 時：平成30年5月27日(日)午後1時～午後3時
場 所：諸橋近代美術館
参加者数：15名



11) 図書資料・視聴覚資料

調査研究及び教育普及を目的とし、昭和63年から図書、ビデオ、レーザーディスク、CD-ROM、DVDなどの二次資料を収集し、一部は開架式図書コーナーにおいて公開している。

この二次資料は、平成30年度末現在23,000件を越えているが、専門職員(司書)の配置がなされていないために、慢性的な未整理状態が続いている。早急な司書の配置が望まれる。

12) 刊行物リスト

美術館ニュース「ザ・ルーフ」 A4判カラー8ページ

第52号(平成30年7月6日発行)

記事

ターナー《カンバーランド州のコールダー・ブリッジ》	表紙
新田量子「作品の魅力を紹介！ターナーがとらえた自然」	p.2
菅野洋人「展覧会の見どころ 知られざる今泉コレクションを公開！」	p.4
「ブリューゲル展」常設展示	p.5
Report(ワークショップ等)	p.6
INFORMATION、TOPICS	p.8

美術館ニュース「ザ・ルーフ」 A4判カラー8ページ

第53号(平成30年12月11日発行)

記事

山本森之助《冬の磐梯山》	表紙
中山恵理「画家一族150年の系譜 ブリューゲル展」	p.2
「企画展でふりかえる 郡山市立美術館の25年」	p.3
「追悼 佐藤昭一氏・三木多聞氏」	p.3
「『自転車の世紀』展の図録、CatalTo2017「クロスジャンル」賞を受賞」	p.4
本田貴侶「盛岡の美術と今泉先生」	p.6
Report(ワークショップ等)	p.7
INFORMATION、TOPICS	p.8

郡山市立美術館年報 平成29年度

A4判 56ページ(平成31年2月28日発行)

郡山市立美術館改修工事及び休館中の活動報告 平成29-30年度

A4判 32ページ(平成31年3月29日発行)

ザ・ルーフ・ミュージアム・カレンダー

A4判三つ折り、片面4色、片面1色

常設展示目録

「常設展示目録 第1期 平成30年7月7日～10月8日」A3判二つ折り、両面1色

「常設展示目録 第2期 平成30年10月11日～平成31年1月20日」A3判二つ折り、両面1色

「常設展示目録 第3期 平成31年1月23日～4月21日」A3判二つ折り、両面1色

ポスター・チラシ・パンフレット

郡山市立美術館所蔵品展 逢瀬で魅せます、日本とイギリス

チラシA3判二つ折り、両面4色

郡山市立美術館 2018春・夏プログラム

A4判両面4色

再オープンチラシ

A4判両面4色

ターナー 風景の詩

ポスターB2判4色、チラシA4判両面4色、

『ターナー 風景の詩 鑑賞ガイド』 A5判4色 16ページ

〈眼の人〉今泉亀撤のコレクション

ポスターB2判4色、チラシA4判両面4色

画家一族150年の系譜 ブリュージュ展

ポスターB2判カラー、前売チラシA4判両面4色、チラシA3判二つ折り両面4色、ブリュージュクイズチラシA4判両面2色

レクチャー・コンサートパンフレット

A4二つ折り、片面4色、片面1色



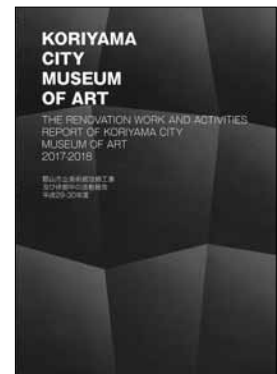
ザ・ルーフ 第52号



ザ・ルーフ 第53号



年報 平成29年度



改修工事及び休館中の活動報告



所蔵品展チラシ



春・夏チラシ



再オープンチラシ



カレンダー

13) 館外での活動及び関連記事・報道

他機関からの委嘱

- ・佐治ゆかり：仙台市文化財保護審議会委員(平成26年12月～)、美術館連絡協議会理事(平成28年4月～)、全国美術館会議理事(平成28年4月～)。
- ・佐藤秀彦：茨城県陶芸美術館美術資料審査委員会委員(平成23年度～)。
- ・菅野洋人：郡山市ふれあい科学館第18回コンピュータグラフィックス展審査員。
- ・杉原 聡：福島大学芸術による地域創造研究所客員研究員(平成21年度～)。

講演

- ・富岡進一「日英協会主催特別講演会 ターナー 風景の詩」、損保ジャパン日本興亜株式会社社会議室、平成30年5月19日。
- ・富岡進一「映画上映+トークショー ターナー、光に愛を求めて」、損保ジャパン日本興亜美術館、平成30年5月26日。
- ・富岡進一「天皇后陛下 ターナー 風景の詩 行幸啓御解説」、損保ジャパン日本興亜美術館、平成30年6月7日。

市政きらめき出前講座

- ・中山恵理「美術に関する教養講座」西田地区女性対象事業(郡山市立西田公民館)、平成30年6月13日(水)。
- ・菅野洋人「美術に関する教養講座」緑ヶ丘ボランティア連絡会(郡山市立緑ヶ丘地域公民館)、平成30年7月17日(火)。
- ・富岡進一「美術に関する教養講座 ターナー 風景の詩」郡山市あさかの学園大学専門課程1年芸術・文化学科(ビッグアイ7F)、平成30年8月31日(金)。

- ・菅野洋人「郡山ゆかりの美術講座」09青春クラブ(ビッグアイ7F)、平成30年10月23日(火)。
- ・菅野洋人「郡山ゆかりの美術講座」生き生きクラブ(ビッグアイ7F)、平成30年11月22日(木)。
- ・菅野洋人「郡山ゆかりの美術講座」郡山市あさかの学園大学教養課程1年芸術・文化学科(ビッグアイ7F)、平成31年2月8日(金)。

関連記事

新聞

- ・「古代の生活分かった 古墳まつり夏」、『福島民友』平成30年8月9日付。
- ・「おやっとさあ 西郷どん 郡山市立美術館の石版画、半年ぶりに帰還」、『朝日新聞』福島県版、平成30年12月2日付。
- ・「身近な歴史再発見 郡山の古墳25 蒲倉古墳群」、『福島民友』平成31年3月30日付。

雑誌その他

- ・人間文化研究機構国文学研究資料館編『木口木版のメディア史 近代日本のヴィジュアルコミュニケーション』勉誠出版、平成30年3月26日、山本芳翠画・合田清刻《磐梯山噴火真図》掲載。
- ・レブン著『小学生のための「世界の名画」がわかる本』メイツ出版、平成30年7月5日、ターナー《カンバーランド州のコールダー・ブリッジ》掲載。
- ・『近代食堂 繁盛店をつくる雑誌』2018年7月号、旭屋出版、ホガース《ビール街とジン小路》掲載。
- ・斎藤美保子「私の研究 西洋と日本の近代絵画史 浅井忠を中心に」、『福島の進路』2018年10月号、とうほう地域総合研究所、浅井忠《収穫》《綾瀬川付近》掲載。
- ・「木口木版 日本の現在と西洋の起源」、『版画芸術』2018冬号、第182号、阿部出版、カルヴァート《林檎酒の宴》、ブレイク《ヴァージルの田園詩》扉絵、山本芳翠画・合田清刻《磐梯山噴火真図》掲載。
- ・C. G. Harding, “Japan Story : In Serch of a Nation, 1850 to the Present”, Penguin Books, 1st November 2018.中村宏《射殺 Aching》掲載。
- ・FTVレポートプラス内「フクカツ」平成30年12月11日放映、三木宗策《威容抱慈(坂上田村麻呂像)》。
- ・大久保守著『海を見つめる画家たち(Ⅱ) 近現代日本洋画に捧げたその生涯』鳥影社、平成31年1月11日、石川寅治《房総風景》掲載。
- ・「知られざる創作版画」、『版画芸術』2019春号、第183号、阿部出版、南薫造《浦の漁灯》掲載。
- ・宮下規久朗著『そのとき、西洋では：時代で比べる日本美術と西洋美術』小学館、平成31年2月27日、亀井竹二郎《石版「懐古東海道五十三驛真景」油彩原画「藤枝驛」》掲載。
- ・荒川裕子著『アート・ビギナーズ・コレクション もっと知りたいラファエル前派』平成31年3月22日、東京美術、ウォルター・ハウエル・デヴァレル《ジョン・L・タパー「ヴィオラとオリヴィア」のための挿絵》(『ザ・ジャーム』より)、ウィリアム・ホルマン・ハント《シャーロットの女》(『テニスン詩集』より)掲載。

IV 作品収集・保存管理事業

1) 新収蔵作品・美術資料一覧

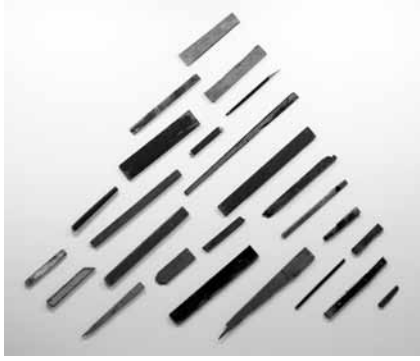
美術品の収集は、(1)イギリスの近代美術、(2)日本の近代美術、(3)郡山ゆかりの美術、(4)本(版)の美術、の4つの柱を基本方針として行っている。

平成30年度の収集状況は、購入9件、寄贈18件で、内訳は下表のとおりである。

	油彩画	水彩画、素描画	日本画	版画	彫刻	工芸	計	美術資料
平成13年度まで	233	353	30	1,219	25	168	2,028	103
平成14年度	16	27	0	29	6	16	94	0
平成15年度	2	0	2	0	0	0	4	0
平成16年度	9	1	1	0	0	0	11	0
平成19年度	0	0	17	0	8	5	30	0
平成20年度	13	16	0	1	1	0	31	0
平成24年度	4	0	0	2	0	0	6	2
平成25年度	2	0	0	0	0	1	3	0
平成26年度	1	0	0	3	1	22	27	7
平成29年度	5	0	0	7	4	0	16	0
平成30年度	2	6	0	4	2	9	23	4
合計	287	403	50	1,265	47	221	2,273	116

■平成30年度新収蔵作品

No.	作者名	タイトル	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	取得形態
1	トニー・クラッグ	山と湖	1984年	木	190.0×214.0×4.0	購入
2	トニー・クラッグ	無題	1984年	ガラス、木、鉄	103.0×81.5×125.0	購入
3	五姓田義松	園田御令嬢肖像	1902(明治35)年	コンテ・紙	50.1×36.6	購入
4	五姓田義松	婦人像	1871(明治4)年頃	油彩・キャンバス	41.0×34.7	購入
5	牧野義雄	セント・ジョン・ザ・ ディヴァイン大聖堂	1924(大正13)年	水彩・紙	33.8×51.8	購入
6	牧野義雄	ハドソン川上流	1926(大正15)年	水彩・紙	47.8×69.7	購入
7	加藤太郎	オバコ	1944(昭和19)年	木版・紙	26.0×20.8	購入
8	加藤太郎	百合		木版・紙	16.5×16.7	購入
9	加藤太郎	朴		木版・紙	37.2×27.1	購入
10	加藤太郎	アネモネ		油彩・板	27.0×21.0	長谷川保裕氏寄贈
11	加藤太郎	無題		木版・紙	59.0×55.0	長谷川保裕氏寄贈
12	加藤太郎	朴(下絵)		水彩、色鉛筆・紙	36.3×34.5	長谷川保裕氏寄贈
13	加藤太郎	植物デッサン		鉛筆・紙	37.3×28.2	長谷川保裕氏寄贈
14	佐藤潤四郎	グリーンタンブラー		ガラス／プランツ	8.6×8.2	林王健治氏寄贈
15	佐藤潤四郎	リュトン(ガラスの神様)	1984(昭和59)年頃	ガラス／宙吹き・グラヴェール	25.0×9.8	福永香氏寄贈
16	佐藤潤四郎	龍文花器		ガラス／宙吹き・グラヴェール	17.4×8.0	福永香氏寄贈
17	佐藤潤四郎	クリスタル花器		ガラス／宙吹き・プランツ	18.3×8.7	福永香氏寄贈
18	佐藤潤四郎	ペーパーウエイト・鍵		ガラス／サンドキャスト	9.6×6.8×2.0	福永香氏寄贈
19	佐藤潤四郎	陶板・五輪塔		陶器	16.7×15.0×1.1	福永香氏寄贈
20	佐藤潤四郎	陶板		陶器	19.8×19.8×1.0	福永香氏寄贈
21	佐藤潤四郎	陶板・窯座		陶器	25.7×36.2×2.5	福永香氏寄贈
22	佐藤潤四郎	陶牌	1964(昭和39)年頃	陶器	最大径26.0	福永香氏寄贈
23	佐藤潤四郎	吹硝子		紙本墨彩／掛幅	41.7×42.4	福永香氏寄贈
24	佐藤潤四郎	那智滝		紙本墨彩／掛幅	23.2×30.0	福永香氏寄贈
25	佐藤潤四郎	相國寺雪景		紙本墨彩／掛幅	60.0×30.0	福永香氏寄贈
26	佐藤潤四郎	マーガレット		紙本墨彩／掛幅	83.6×30.0	福永香氏寄贈
27	バーナード・リーチ	壺	1934(昭和9)年	水彩・紙	41.6×31.2	株式会社名古屋画廊寄贈



1 トニー・クラッグ 山と湖



2 トニー・クラッグ 無題



3 五姓田義松
園田御令嬢肖像



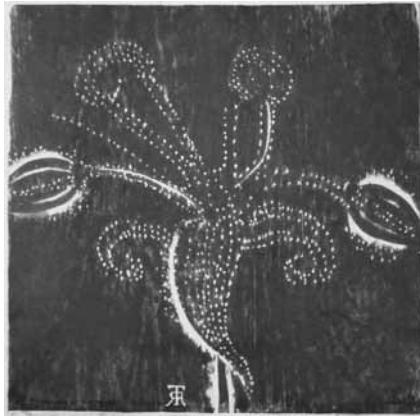
4 五姓田義松 婦人像



5 牧野義雄
セント・ジョン・ザ・ディヴァイン
大聖堂



6 牧野義雄 ハドソン川上流



7 加藤太郎 オバコ



8 加藤太郎 百合



9 加藤太郎 朴



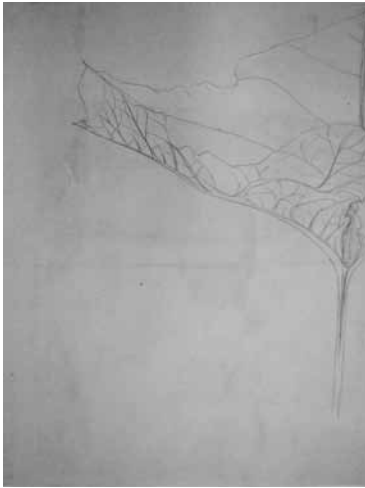
10 加藤太郎 アネモネ
長谷川保裕氏寄贈



11 加藤太郎 無題
長谷川保裕氏寄贈



12 加藤太郎 朴(下絵)
長谷川保裕氏寄贈



13 加藤太郎 植物デッサン
長谷川保裕氏寄贈



14 佐藤潤四郎 グリーントンプラー
林王健治氏寄贈



15 佐藤潤四郎
リュトン(ガラスの神様)
福永香氏寄贈



16 佐藤潤四郎 龍文花器
福永香氏寄贈



17 佐藤潤四郎 クリスタル花器
福永香氏寄贈



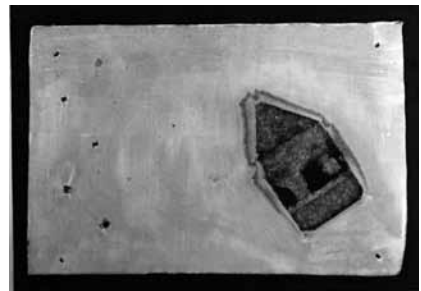
18 佐藤潤四郎 ペーパーウエイト・鍵
福永香氏寄贈



19 佐藤潤四郎 陶板・五輪塔
福永香氏寄贈



20 佐藤潤四郎 陶板
福永香氏寄贈



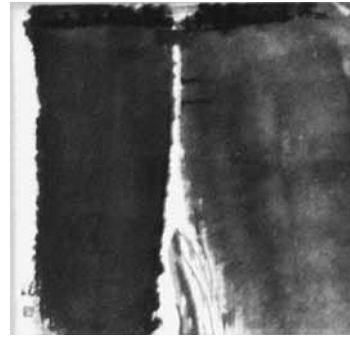
21 佐藤潤四郎 陶板・窯座
福永香氏寄贈



22 佐藤潤四郎 陶牌
福永香氏寄贈



23 佐藤潤四郎 吹硝子
福永香氏寄贈



24 佐藤潤四郎 那智滝
福永香氏寄贈



25 佐藤潤四郎 相國寺雪景
福永香氏寄贈



26 佐藤潤四郎 マーガレット
福永香氏寄贈



27 バーナード・リーチ 壺
株式会社名古屋画廊寄贈

2) 収蔵作品貸出状況

作者名	作品名	展覧会名	会場	会期
床次正精／ 山下房親	西郷隆盛肖像	NHK大河ドラマ 特別展「西郷どん」	東京藝術大学 大学美術館	平成30年5月26日(土) ～7月16日(月・祝)
			大阪歴史博 物館	平成30年7月28日(土) ～9月17日(月・祝)
岸田劉生	男の像	岸田劉生展	豊橋市美術 博物館	平成30年7月21日(土) ～9月2日(日)
	銀座数寄屋橋			
	銀座と数寄屋橋畔			
	築地風景			
	天地創造：怒れるアダム		ふくやま 美術館	平成30年9月15日(土) ～11月4日(日)
	天地創造：欲望			
	天地創造：石を噛む人			
The Earth(大地)				
床次正精／ 山下房親	西郷隆盛肖像	特別企画展「明治 維新150周年 日本 洋画の夜明け ― 山岡コレクション を中心に」	鹿児島市立 美術館	平成30年9月28日(金) ～11月4日(日)
駒井哲郎	白い黒ン坊	福島ビエンナーレ 2018 海神の芸術祭 駒井哲郎展	南相馬市埴 谷・島尾記 念文学資料 館	平成30年10月13日(土) ～11月16日(金)
	墓(「マルドロオルの歌」)			
	調理場(La Cuisine)			
	13			
	Juin「球根たち」			
	化石			
	飛んでいる鳥と木の葉			
	暑中見舞(手)			
貝(Coquillage)				
リチャード・ウィル ソン	キケロの別荘	終わりのむこうへ： 廃墟の美術史	渋谷区立松 濤美術館	平成30年12月8日(土) ～平成31年1月31日(木)
ジョン・コンスタ ブル	『イングランドの風景』よりハドリー城			
ジョン・コンスタ ブル	ストーンヘンジ			
トマス・ガーティン	エア川沿いのカークストール修道院			
トマス・ガーティン	ウォーフ川沿いのボルトン修道院			
ジョン・リネル	修道院の廃墟			
ジョン・セル・ コットマン	ビーストン小修道院、ノーフォーク			
ジョン・セル・ コットマン	城門と城壁の廃墟、ライジング城 の城郭、ノーフォーク			
ジョン・セル・ コットマン	ハウデン共住聖職者教会の東端、 ヨークシャー			
ジョン・セル・ コットマン	セント・ソヴァー・ル・ヴィコー ント大寺院			
ジョン・セル・ コットマン	エイカー城小修道院			

3) 収蔵作品修復状況

◆サー・アルフレッド・イースト「九月の陽光」

技法材質：油彩・キャンバス

制作年：不詳

寸法：101.5×152.9cm

修復者：(有)修復研究所21

修復前の状況

- 絵具の固着状態は良好だが、下辺右下に一部浮き上がりが見られる。
- 絵具層の一部に潰れが生じており、裏打ちの際に加温加圧された影響によるものと推察される。
- 上下辺に絵具層の剥落が集中している。
- 絵具層表面が擦れた部分が数カ所で見受けられる。
- 額縁にはドロ足が無く、作品を入れ込む深さが浅いため、作品が裏面へ剥き出し、危険な状態である。

修復内容

- 絵具層の浮き上がりを、旧裏打ちのワックスを利用して接着。
- 画面洗浄(精製水)。
- 支持体裏面の清掃、殺菌(エタノール水)。
- 絵具層の剥落箇所に充填剤(ワックス)を詰め整形。
- 充填箇所や絵具の擦れた部分に、溶剤型アクリル樹脂絵具で補彩。
- ダンマル樹脂ワニス塗布し、光沢を調整。
- 額縁にドロ足を取り付け、T字金具で額縁と作品を固定。
- 裏蓋としてレキサンポリカーボネート板を取り付けた。
- 耐荷重の高い吊り金具を取り付けた。

◆斎藤豊作「風景」

技法材質：油彩・キャンバス

制作年：1912(大正元)年

寸法：65.2×80.1cm

修復者：(有)修復研究所21

修復前の状況

- ワニスはムラなく塗布されているが、濃く黄化した小さなワニスの塊が数箇所付着している。
- 軽度の浮き上がりを伴う小さな剥落が複数生じている。
- 右辺上寄りに画面側からの打撃による剥落、浮き上がりがある。
- 画布裏面と木枠の間に異物が混入しており、画面端に凹凸が見える。
- 釘はすべて錆びており、左辺上方のものは釘頭部周りの布を腐食劣化させている。
- 額縁は金地に小さい欠けが数箇所ある。
- 前面下方に真鍮製銘板が釘留めしてあり、裏蓋にはタイトルラベルが貼ってある。いずれも「残れる光」表記。
- 作り直したと思われる入れ子の下辺が4mmほど奥にずれて、額縁本体との隙間が生じている。

修復内容

- 浮き上がり接着(膠水)。
- 木枠と画布の隙間に薄いヘラを差し込み異物除去。木枠、画布裏面の埃を除去後、エタノールで殺菌。
- 錆びた釘をすべてステンレス製釘に交換。
- 画面洗浄(精製水)。黄化したワニス塊のみ溶剤で除去。
- 水性充填剤を剥落部に詰め、整形。
- チアベンダゾールを主成分とする防黴剤を噴霧。
- 修復用樹脂絵具で補彩。
- ダンマーマットヴァニッシュ(半艶ワニス)を噴霧。
- 額縁の清掃、金地の欠け部分を水性アクリル絵具で補彩。
- ずれて釘打ちされていた入れ子下辺を正常な位置に戻し、細ネジで固定。
- 作品をT字金具で固定、裏蓋は4mm厚ポリカーボネート板をネジ留。吊り金具交換。

◆サー・アルフレッド・イースト「荒れ模様」

技法材質：水彩・紙

制作年：不詳

寸法：54.3×36.8cm

修復者：(有)修復研究所21

修復前の状況

- 全体に緩やかな波打状の変形、経年による黄ばみが生じている。
- 周縁部に画鋏穴があり、旧処置により補彩されている。
- 下辺部中央に支持体の欠損箇所がある。
- 裏面上辺、左辺に旧ヒンジが付着している。
- 旧ウィンドウマットの跡があり、マットから露出していた部分に紫外線による絵具層の褪色が見られる。
- 金色の木製マットには、トメ切れ、全体的な反り、割れ(左上角)が生じている。
- 下辺部中央付近には褐色の点状の付着物がある。

修復内容

- 裏面の旧ヒンジを、ピンセットを用いて除去。
- 画面側は柔らかい刷毛を用いて埃汚れを除去、裏面は練り消しゴムを用いて乾式洗浄。
- ゴアテックスを用いて作品を加湿した後、ポリエステル紙・吸い取り紙・アクリル板で挟み、重しをのせてプレスし変形修正。
- 下辺の支持体欠損部に、オリジナルと同程度の厚みの紙片を接着し、裏面より和紙を貼って補強。
- 補紙した箇所が目立たなくなるようにわずかに補彩。
- 既存の金色木製マットは矯正すると破損の恐れがあるため、最低限の補修に留め、現状のままビス穴と溝掘りをして利用。
- 低反射アクリル(オプティウム・ミュージウム・アクリル)、マット(ピュアマット)、緩衝剤(CXDボックスボード)、裏蓋(レキサソツインカーボ)、ステンレス製吊り金具・T字金具・トンボを新調。
- 和紙ヒンジとカルボキシメチルセルロースを用いて、作品を台紙マットに固定。
- 旧緑縁の裏蓋に接着されていたラベルを取り出し、和紙と生麩糊を用いて裏打ちしてから新調した裏蓋の内側に移した。

◆ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー「メッドウェイ川沿いのロチェスター」

技法材質：メゾチント・紙

制作年：1826年

寸法：18.7×24.6cm

修復者：(有)修復研究所21

修復前の状況

- プレートマーク内は、緩やかな波打状の変形が生じ、雁皮紙の浮き上がり箇所が散見される。
- 画面中央部に製版当初からのものと考えられる、天地方向の皺が入っている。
- 版画部分を中心に、褐色の染みが散在、周縁部に黄ばみがある。
- 裏面の上辺両端と左辺下にヒンジ痕がある。

修復内容

- 画面上及び裏面に粉末消しゴムをのせ、柔らかい刷毛で掃くようにして表面の埃汚れを除去した。
- 褐色のしみ部分に、過酸化水素水に希アンモニア水を滴下した溶液を筆で注し入れ、部分漂白を行った。
- 霧吹きで希アンモニア水、精製水を噴霧することによって水洗処置を行った。水洗後浮き上がった雁皮紙を取り外し、ポリエステル紙・吸い取り紙・アクリル板で挟み、乾燥させた。
- 仮張りのため、洋紙の周囲に和紙の張りしろを生麩糊で接着した。
- わずかに加湿した状態で洋紙をパネルに仮張りし、雁皮紙の裏面に生麩糊を塗布し、洋紙のプレートマーク内の当初の位置に接着した。乾燥後の雁皮紙の接着があまり良好でなかったため、メチルセルロースを用いて再接着した。雁皮紙接着後、張りしろを取り外した。

◆菊地養之助「野の花」

技法材質：岩絵具・紙

制作年：1976(昭和51)年

寸法：100.2×80.3cm

修復者：(有)修復研究所21

- 額縁の新調。作品と額縁はT字金具で固定し、吊り金具も取り付けた。

4) 改修工事及びそれに伴う空気環境測定

1992(平成4)年の開館から26年が経過し施設全体として老朽化が進んでいるため、最も重要である空調設備を中心とする改修工事を前年度から引き続き実施した。そのため、平成29年10月1日(日)から平成30年7月6日(金)までカフェを除いて休館した。

なお、改修工事についての詳細は『郡山市立美術館改修工事及び休館中の活動報告 平成29-30年度』(平成31年3月29日発行)で報告している。

改修工事

①空気調和設備

- ・中央監視システムの更新。
- ・水冷チラー(冷凍機)の更新。
- ・冷温水ポンプの修繕。
- ・空冷チラー(冷凍機)の更新。
- ・蓄熱槽の清掃・修繕等。

②館内監視システム

- ・館内監視システム(カメラを含む)の更新。

③企画展示室天井

- ・既存のルーバーを撤去し、ライティングダクトを設置した。

④常設展示室天井改修

- ・吊天井を補強し、隙間及び亀裂を補修した。

⑤企画・常設展示室照明のLED化

- ・LEDスポットライトの導入。
- ・間接照明の結線替え。
- ・可動式行灯型展示ケースの結線替え。

⑥その他

- ・企画展示室壁面修繕。
- ・電話設備更新。
- ・非常照明用蓄電池設備更新。
- ・ポスター掲示板修繕。
- ・駐車場看板修繕。
- ・可動式覗き型展示ケース修繕。
- ・ミュージアム・ショップへのLED照明導入。
- ・ポスター掲示板設置。
- ・来客用トイレの洋式便座を一部温水洗浄便座へ交換。

改修工事に伴う空気環境測定

①工事前空気環境測定(平成29年11月6日～10日)

測定場所：収蔵庫、企画展示室、常設展示室及び各展示ケース内。

②平成30年3月定期測定(平成30年3月3日～5日)

測定場所：企画展示室、常設展示室。

③平成30年5月定期測定(平成30年5月19日～21日)

測定場所：企画展示室、常設展示室。

④展示室改修工事終了後の測定(平成30年6月8日～12日)

測定場所：収蔵庫、企画展示室、常設展示室及び各展示ケース内。

⑤燻蒸後の第1回空気環境測定(平成30年6月19日～20日)

測定場所：企画展示室及び各展示ケース内。

⑥燻蒸後の第2回空気環境測定(平成30年6月24日～25日)

測定場所：企画展示室及び各展示ケース内。

⑦最終空気環境測定(平成30年7月1日～2日)

測定場所：企画展示室。

V 利用者数

美術館総利用者数 104,151 人

1) 展覧会 89,305 人

展覧会観覧者数

(人)

展覧会名	会 期	日 数	観覧者数
ターナー 風景の詩	平成30年7月7日～9月9日	56	17,407
〈眼の人〉今泉亀撤のコレクション	平成30年9月22日～12月24日	81	4,580
ブリューゲル展	平成31年1月11日～3月31日	69	36,467
企画展小計			58,454
常設展	平成30年7月7日～平成31年3月31日	221	1,938
企画展観覧券で常設展も観覧した人数		206	28,913
合 計			89,305

(内訳)

(人)

		企画展計	ターナー展	今泉展	ブリューゲル展	常設展	企画展観覧券で常設展も観覧した人数	
有 料	個 人	一 般	26,647	6,576	1,135	18,936	474	13,095
		65歳以上	13,972	3,810	1,198	8,964		5,929
		高・大	1,714	361	37	1,316	76	780
		計	42,333	10,747	2,370	29,216	550	19,804
	団 体	一 般	382	120	40	222	133	328
		65歳以上	462	162	112	188		446
		高・大	84	81	0	3	3	82
		計	928	363	152	413	136	856
	友の会	一 般	427	132	104	191	12	182
		65歳以上	331	100	80	151		114
		高・大	22	4	8	10	0	11
		計	780	236	192	352	12	307
小 計		44,041	11,346	2,714	29,981	698	20,967	
無 料	高 齢 者					637		
	シルバー=友の会					5		
	一 般					216		
	高・大					3		
	中学生以下(個人)	2,936	842	94	2,000	108	1,174	
	中学生以下(団体)	3,244	2,502	576	166	200	3,247	
	減 免	92	0	92	0	20	92	
	ピラ下券	2,421	1,053	289	1,079		843	
	招 待 券	1,401	322	299	780		597	
	関 係 者	1,193	509	257	427	39	645	
	障 が い 者	1,690	449	154	1,087	8	864	
	療育/精神	650	179	50	421	2	161	
	同 伴 者	786	205	55	526	2	323	
小 計		14,413	6,061	1,866	6,486	1,240	7,946	
合 計		58,454	17,407	4,580	36,467	1,938	28,913	

2) 教育普及事業 14,846 人

事業名	回数	参加者数	備考
休館中の事業(平成30年4月1日～7月6日)			
郡山市立美術館所蔵品展 逢瀬で魅 せます 日本とイギリス	1	313	美術館館外プロジェクト
アート・カフェ	3	34	
考古×美術 ワークショップ「みつろ うクレヨンであそぼう!」&「紙切り アートにチャレンジ!」	2	420	美術館館外プロジェクト
社会×美術 ワークショップ「マスキ ングテープ・アートを楽しむ」	1	16	美術館館外プロジェクト
美術×美術 ワークショップ「だまし 絵を見る・描く・つくる」	1	15	美術館館外プロジェクト
開館中の事業(平成30年7月7日～平成31年3月31日)			
アート・テーク	4	395	
講演会	4	482	
美術講座	9	482	
ギャラリートーク	8	208	
ワークショップ	4	107	
ミュージアム・シアター	2	181	
ミュージアム・コンサート	2	630	
風土記の丘の美術展	1	5,431	6日×5期 平成30年7月16日～8月19日
風土記の空	1	2,351	平成30年11月20日～12月24日
鑑賞学習対応	-	3,773	幼稚園1園、小学校15校、中学校27校、高校4校、 大学・専門学校他3校 計50校
博物館実習	1	5	期間 平成30年7月31日～8月10日
ジュニア・インターンシップ	2	3	期間 平成30年10月23日～25日、11月13日～15日
合計	46	14,846	

3) 過去5年間の利用者数推移状況

年 度		平成26(2014)年度	平成27(2015)年度	平成28(2016)年度	平成29(2017)年度	平成30(2018)年度
総利用者数(人)		89,694	100,056	111,342	42,039	104,151
展覧会	展覧会観覧者数(人)	66,669	82,202	87,516	33,313	89,305
	企画展本数(本)	5	5	6	2	3
普及事業	普及事業参加者数(人)	23,025	17,854	19,036	8,726	14,846
	普及事業回数(回)	59	52	57	62	46

4) 教育普及事業別参加者数の推移状況

年 度		平成26 (2014)年度	平成27 (2015)年度	平成28 (2016)年度	平成29 (2017)年度	平成30 (2018)年度	主な使用場所
アート・トーク	参加者数(人)	475	551	593	239	395	多目的スタジオ、 講義室など
	回数	6	6	6	3	4	
講演会	参加者数(人)	385	526	493	143	482	多目的スタジオ
	回数	4	6	5	3	4	
美術講座	参加者数(人)	226	280	394	42	482	講義室、多目的ス タジオ
	回数	8	6	9	4	9	
ギャラリートーク	参加者数(人)	362	375	499	66	208	企画展示室
	回数	12	10	17	4	8	
ワークショップ	参加者数(人)	384	322	197	253	107	多目的スタジオ、 講義室、階段ホール、 ロビー
	回数	11	10	7	10	4	
ミュージアム・ シアター	参加者数(人)	1,033	850	593	67	181	多目的スタジオ
	回数	10	9	8	2	2	
ミュージアム・ コンサート	参加者数(人)	174	185	180	150	630	多目的スタジオ、 階段ホールなど
	回数	1	1	1	1	2	
朗読会	参加者数(人)	227	0	0	0	0	多目的スタジオ、 階段ホール
	回数	3	0	0	0	0	
風土記の丘の 美術展	参加者数(人)	10,205	6,757	9,410	3,335	5,431	ロビー
	回数	1	1	1	1	1	
風土記の空	参加者数(人)	4,429	2,923	6,608	0	2,351	ロビー
	回数	1	1	1	0	1	
鑑賞学習対応	参加者数(人)	5,115	5,080	4,845	3,325	3,773	企画展示室、常設 展示室、多目的ス タジオなど
	受入れ校数	69	59	55	48	50	
博物館実習	参加者数(人)	4	4	5	5	5	講義室など
	受入れ校数	4	4	4	3	3	
ジュニア・ インターンシップ	参加者数(人)	3	1	9	3	3	講義室など
	受入れ校数	1	1	2	2	2	
職場体験	参加者数(人)	3	0	0	0	0	講義室など
	回数	1	0	0	0	0	

VI 管理運営

1) 関係法規・組織

郡山市立美術館条例

【設置】

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条第1項及び博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)第18条の規定に基づき、市民の美術に関する知識と教養の向上を図り、文化の発展に寄与するため、美術館を設置する。

【名称及び位置】

第2条 美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
郡山市立美術館	郡山市安原町字大谷地130番地の2

【管理】

第3条 郡山市立美術館(以下「美術館」という。)は、郡山市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が、これを管理する。

【事業】

第4条 美術館の事業は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1)美術品その他美術に関する資料(以下「美術品等」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2)美術に関する調査及び研究を行うこと。
- (3)美術に関する展覧会、講演会、講習会及び映写会等を開催すること。
- (4)前各号に掲げるもののほか、目的を達成するために必要な事業を行うこと。

(平22条例78・一部改正)

【観覧料】

第5条 美術館の常設展(美術品等の常設展示をいう。以下同じ。)を観覧しようとする者は、別表第1に定める常設展観覧料を納入しなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、常設展観覧料を無料とする。

(1)国民の祝日に関する法律(昭和23年法律178号)に規定する休日に観覧する場合

(2)次項に定める企画展を観覧する場合

2 美術館の企画展(常設展以外の展示をいう。以下同じ。)を観覧しようとする者は、別表第2に定める企画展観覧料を納入しなければならない。

(平10条例35・一部改正)

【撮影等の許可及び特別観覧料】

第6条 学術研究等のため、美術館に展示され、又は保管されている美術品等の撮影、模写又は模造等(以下「撮影等」という。)をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第3に定める特別観覧料を納入しなければならない。

【観覧料等の不返還】

第7条 既納の常設展観覧料、企画展観覧料及び特別観覧料(以下「観覧料等」という。)は、これを返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を返還することができる。

(1)観覧又は撮影等をしようとする者の責めによらない理由により、観覧又は撮影等ができなかったとき。

(2)その他教育委員会が特別の理由があると認めるとき。

【観覧料等の免除】

第8条 市長は、公用又は公益上特に必要があると認めるときは、観覧料等の全部又は一部を免除することができる。

【入館の制限等】

第9条 次の各号のいずれかに該当するときは、教育委員会は、美術館への入館を拒み、又は退館させることができる。

(1)公益を害し、又は風俗を乱すおそれがあると認めるとき。

(2)施設、設備又は美術品等をき損又は汚損するおそれがあると認めるとき。

(3)この条例及びこれに基づく規則に違反し、又はそのおそれがあると認めるとき。

(4)前各号に掲げるもののほか、管理運営上適当でないとき。

(平22条例78・一部改正)

【賠償責任】

第10条 施設、設備又は美術品等をき損、汚損、又は滅失した者は、教育委員会の指示に従い、その損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会がやむを得ない理由があると認めるときは、その額を減額し又は免除することができる。

(平22条例78・一部改正)

【美術館協議会】

第11条 法第20条第1項の規定に基づき、美術館に郡山市立美術館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員(以下「委員」という。)は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が任命する。

3 委員の定数は、10名以内とし、その任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(平成24条例31・一部改正)

【職員】

第12条 美術館に館長その他必要な職員を置く。

【委任】

第13条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

附 則

この条例は、平成4年7月1日から施行する。ただし、第5条から第9条の規定は、平成4年11月21日から施行する。

附 則(平成10年郡山市条例第35号)

この条例は、平成10年10月1日から施行する。ただし、第5条第1号の改正規定は、公布の日から施行する。

附 則(平成13年郡山市条例第31号)

この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附 則(平成15年郡山市条例第25号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成22年郡山市条例第78号)

(施行期日)

1 この条例は、平成23年4月1日から施行する。(経過措置)

2 この条例の施行の日前に撮影等の許可を受けた者に係る特別観覧料の額については、なお従前の例による。

附 則(平成24年郡山市条例第31号)

(施行期日)

1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。(経過措置)

2 この条例の施行の際限にこの条例による改正前の郡山市立美術館条例の規定に基づく郡山市立美術館協議会の委員である者は、この条例による改正後の郡山市立美術館条例の規定に基づく郡山市立美術館協議会の委員とみなす。

附 則(平成30年郡山市条例第41号)

この条例は、平成30年4月1日から施行する。

別表第1 【第5条関係】

(平10条例35・平13条例31・平22条例78・一部改正)
常設展観覧料

区 分	観覧料	
	個人	団体
高校生、大学生及びこれらに準ずる者	1人1回につき 100円	1人1回につき 70円
一 般	1人1回につき 200円	1人1回につき 150円

備考

- 1 「団体」とは、20名以上をいう。
- 2 65歳以上の者は、無料とする。

別表第2 【第5条関係】

(平13条例31・平15条例25・平30条例41・一部改正)
企画展観覧料

区 分	観覧料	
	個人	団体
高校生、大学生及びこれらに準ずる者	1人1回につき1,500円の範囲内でそのつど市長が定める額	
一 般		

備考

- 1 「団体」とは、20名以上をいう。
- 2 団体観覧料は、個人観覧料の10分の8に相当する額とし、10円未満の端数が生じた場合は、これを10円に切り上げる。

別表第3 【第6条関係】

(平22条例78・一部改正)

特別観覧料

区 分	観覧料	
撮影	モノクローム	1点1回につき 1,600円
	カラー	1点1回につき 3,100円
模 写 模 造	1点1日につき	2,100円
熟 覧	1点1回につき	200円

備考

- 1 一双屏風は、一双以内を1点とする。
- 2 一揃えの卷子(巻物をいう。)は、一揃え以内を1点とする。
- 3 対幅は、対幅以内を1点とする。
- 4 写真撮影は、同一作品について原板3枚以内を1回とする。

郡山市立美術館条例施行規則

【趣旨】

第1条 この規則は、郡山市立美術館条例(平成4年郡山市条例第29号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

【観覧券の交付】

第2条 郡山市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、常設展観覧料を納入した者に対して郡山市立美術館常設展観覧券(第1号様式)を、企画展観覧料を納入した者に対してそのつど定める郡山市立美術館企画展観覧券を交付する。

【撮影等の許可】

第3条 美術品その他美術に関する資料の撮影、模写又は模造等(以下「撮影等」という。)をしようとする者は、郡山市立美術館撮影等許可申請書(第2号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項に規定する撮影等を許可したときは、郡山市立美術館撮影等許可書(第3号様式)を申請人に交付する。

【観覧料等の返還】

第4条 条例第7条ただし書の規定により返還する観覧料等の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

(1) 観覧又は撮影等をしようとする者の責めにやらない理由により、観覧又は撮影等ができなくなった場合
当該観覧料等の全額

(2) その他教育委員会が特別の理由があると認めた場合
教育委員会が認める額

2 前項に規定する観覧料等の返還を受けようとする者は、郡山市立美術館観覧料等返還請求書(第4号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

【観覧料等の免除】

第5条 条例第8条に規定する観覧料等の免除は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

(1) 市(市の機関を含む。)が主催する事業の活動として常設展を観覧する場合常設展観覧料を全部免除

(2) その他教育委員会が観覧料等を免除することが適当と認める場合教育委員会が認める額

2 前項の規定により観覧料等の免除を受けようとする者は、あらかじめ郡山市立美術館観覧料等免除申請書(第5号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

3 教育委員会は、前項の規定による申請に基づき観覧料等の免除を決定したときは、郡山市立美術館観覧料等免除決定通知書(第6号様式)を申請人に交付する。

【開館時間】

第6条 郡山市立美術館(以下「美術館」という。)の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、入館は午後4時30分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めたときは、これを変更することができる。

【休館日】

第7条 美術館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日当たるときは、その翌日とする。)

(2) 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで

【遵守事項】

第8条 美術館の入館者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 施設、設備、美術品等をき損若しくは汚損し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。

(2) 所定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。

(3) 他人に危害又は迷惑をおよぼすおそれのある物品又は動物を持ち込まないこと。

(4) 風紀及び秩序を乱さないこと。

(5) その他職員の指示に従うこと。

【委任】

第9条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、平成4年11月21日から施行する。

附 則(平成6年教委規則第3号)

(施行期日)

1 この規則は、平成6年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の際、現に様式の規定に基づいて作成されている用紙は、この規則の規定にかかわらず、当分の間、使用することができる。

附 則(平成15年教委規則第4号)

1 この規則は、平成15年4月1日から施行する。

2 この規則の施行の際現に改正前の様式の規定により作成されている用紙は、改正後の規則の様式の規定にかかわらず、当分の間、所要の調整をして使用することができる。

郡山市立美術館協議会規則

【趣旨】

第1条 この規則は、郡山市立美術館協議会(以下「協議会」という。)の会議運営について必要な事項を定めるものとする。

【招集】

第2条 協議会は、郡山市立美術館長(以下「館長」という。)が招集する。

2 会議開催の場所及び日時は、付議すべき事項とともに、あらかじめ委員に通知しなければならない。

【定例会及び臨時会】

第3条 協議会は、定例会及び臨時会とする。

2 定例会は年2回とし、臨時会は必要があるときに招集する。

【会長及び副会長】

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長及び副会長の任期は、2年とする。ただし、再選を妨げない。

【職務】

第5条 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

【会議】

第6条 協議会は、委員の過半数で成立する。

2 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長が決する。

【庶務】

第7条 協議会の庶務は、郡山市立美術館において処理する。

【委任】

第8条 この規則に定めるもののほか、協議会の会議に必要な事項は、会長が定める。

附 則

この規則は、平成4年7月1日から施行する。

郡山市美術品収集評価選定委員会設置要綱

【設置】

第1条 郡山市が収集する美術品を選定するにあたり、その適正な評価等を行うため、郡山市美術品収集評価選定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

【組織】

第2条 委員会は、委員8名以内で組織し、委員は、美術に関する専門的知識を有する者のうちから、教育長が委嘱する。

2 委員の任期は、2年とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

【委員長及び副委員長】

第3条 委員会に委員長及び副委員長1名を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は、委員長が欠けたときはその職務を代理する。

【会議】

第4条 委員会の会議は、教育長が招集し、委員長が会議の議長となる。

2 会議は次の事項について審議する。

(1)美術品の選定評価に関すること。

- (2)美術品の寄託又は、寄贈に関すること。
- (3)美術品選定のための資料の収集その他専門的な事項に関すること。

【庶務】

第5条 委員会の庶務は、郡山市立美術館において処理する。

【委任】

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この要綱は、昭和63年6月8日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

2) 名簿 (平成30年度)

郡山市立美術館協議会

◎会長 ○副会長

(任期：平成28年6月1日～平成30年5月31日)

- | | |
|---------|----------------|
| 木村 京子 | 郡山市立小泉小学校長 |
| 味原 悦雄 | 郡山市立郡山第一中学校長 |
| 鈴木 睦治 | 福島県立あさか開成高等学校長 |
| 馬場 典枝 | FMいわきパーソナリティ |
| 宗像 利訓 | 本郷焼・宗像窯9代目 |
| 高澤 俊郎 | 福島県立郡山養護学校教諭 |
| ◎中村 亜都子 | 学校法人尚志学園高等学校講師 |
| ○伊藤 匡 | 福島県立美術館学芸課長 |
| ○瀬谷 賢次 | 福島交通株式会社郡山支社長 |
| 鎌田 陽子 | 一般公募 |

(任期：平成30年6月1日～令和2年5月31日)

- | | |
|---------|---------------------|
| 鈴木 亨尚 | 郡山市立御代田小学校長 |
| 佐藤 士郎 | 郡山市立守山中学校長 |
| 矢森 健一 | 福島県立あさか開成高等学校長 |
| ○馬場 典枝 | FMいわきパーソナリティ |
| 宗像 利訓 | 本郷焼・宗像窯9代目 |
| 高澤 俊郎 | 福島県立郡山支援学校講師 |
| ◎中村 亜都子 | 学校法人尚志学園高等学校講師 |
| 荒木 康子 | 福島県立美術館学芸課長 |
| ○瀬谷 賢次 | 福島交通株式会社郡山支社長 |
| 古川 文子 | 「幼稚園等新規採用教員研修」研修指導員 |

郡山市美術品収集評価選定委員会

◎会長 ○副会長

(任期：平成29年7月1日～令和元年6月30日)

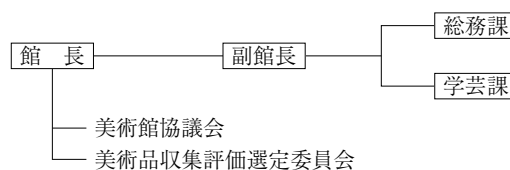
- | | |
|--------|----------------|
| ◎金子 賢治 | 茨城県陶芸美術館長 |
| 齋藤美保子 | 郡山女子大学短期大学部教授 |
| ○古田 亮 | 東京芸術大学大学美術館准教授 |
| 早川 博明 | 福島県立美術館長 |
| 猿渡紀代子 | 横浜美術館特任学芸員 |
| 吉田 尊子 | 岩手県立美術館学芸普及課長 |

- | | |
|-------|----------------|
| 濱崎 礼二 | 宮城県美術館上席主任研究員 |
| 杉村 浩哉 | 栃木県立美術館技幹兼学芸課長 |

郡山市立美術館職員

- | | |
|----------|-------|
| 館長 | 佐治ゆかり |
| 主幹兼副館長 | 佐藤 秀彦 |
| 主幹兼総務課長 | 神 彰 |
| 総務課主査 | 田母神知恵 |
| 総務課主任用務員 | 佐々木直人 |
| 学芸課長 | 鈴木 誠一 |
| 学芸課主任主査 | 菅野 洋人 |
| 学芸課主任主査 | 中山 恵理 |
| 学芸課主任主査 | 杉原 聡 |
| 学芸課主任主査 | 永山多貴子 |
| 学芸課主任学芸員 | 富岡 進一 |
| 学芸員 | 田中有沙子 |
| 学芸員 | 新田 量子 |

■組織図



3) 建築設備概要・平面図・面積表

■敷地面積	38,420.24㎡
[建築概要]	
■建築面積	3,776.52㎡
■建築床面積	6,848.37㎡
■駐車場面積	3,300㎡ 収容台数 乗用車123台 バス 8台
■構造及び規模	鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造 地上2階地下1階
■仕上	
外壁	杉小幅板本実化粧型枠ホワイトコンクリート打放し
屋根	ステンレス鋼板フッ素樹脂加工
サッシ	アルミ電解二次着色
展示室壁	カーテンウォール爪かけバックマリオン方式ペアガラス(二面サンドブラスト加工)
展示室床	不燃クロス貼ペンキ拭取仕上げ
	木製フローリング(ホワイトオーク)
■設計	(株)TAK建築・都市計画研究所
■設計協力	
基本計画・ガラスデザイン	川上喜三郎
木製家具デザイン	(株)方圓館 坂本和正
サインデザイン	永原浄デザイン研究所 永原浄
造園	(株)和泉屋・石のアトリエ 和泉正敏
■施工	
主体工事	大林・東洋特定建設工事共同企業体
電気工事	(株)ユアテック郡山営業所
空調和建設工事	高砂・菱和特定建設工事共同体
情報防火設備工事	(株)ニノテック
給排水設備工事	東北設備工業(株)
昇降機設置工事	フジテック(株)仙台営業所
■工期	着工：1990(平成2)年12月18日 竣工：1992(平成4)年6月30日
■建築費	40億円
[設備概要]	
■電気設備	
受電	3相3線、6KV、50Hz
変圧器	電灯：単相3線、210/15V、100KVA×3 動力：3相3線、210V、500KVA×2、300KVA×2
蓄電池	シール形鉛蓄電池100AH/10HR
非常用発電機	ディーゼルエンジン228PS、出力3相200V、180KVA
照明設備	白熱灯、高輝度放電灯、蛍光灯、LEDスポットライト、直管式LED
■情報防災設備	
防災設備	自動火災報知機、防排煙、非常放送、誘導灯
防犯設備	ITV監視装置(監視カメラ、14型カラーモニター・四分割型)
その他	視聴覚設備、放送設備、中央監視設備

■空気調和設備

熱源設備

空冷ヒートポンプチラー(圧縮機50KW) 4台

暖房能力：524KW、冷房能力：724KW

水冷チラー(圧縮機40KW)

暖房能力：198KW、冷房能力：157KW

空調設備

4管式恒温恒湿制御方式(収蔵庫系統)、4管式再熱制御方式(展示室系統)

VAV方式(普及部門諸室系統)

外調機+ファンコイルユニット方式(事務管理諸室系統)

空調機+ファンコイルユニット方式(エントランスホール・ロビー系統)

その他

自動制御設備、換気設備、機械排煙設備

■給排水設備

給水設備

圧力給水方式 受水槽10㎡、副受水槽1.5㎡

給湯設備

電気温水器(貯湯量224ℓ、10KW)電気湯沸器(貯湯量40ℓ、4KW)

消火設備

屋内消火栓、連結散水設備、ハロンガス消化設備(収蔵庫)

■くん蒸設備

常圧・減圧兼用式4.0㎡、ミニガスベンベ脱着方式

■昇降機設備

乗用

750Kg,11人乗り(車椅子対応)

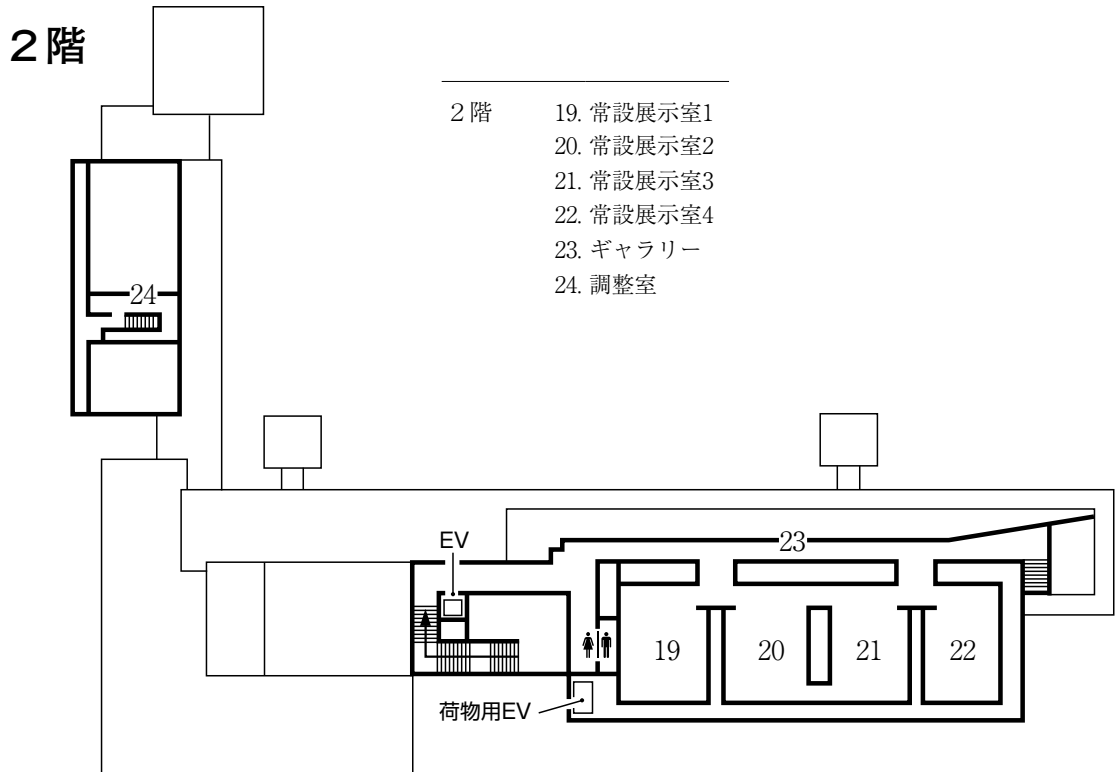
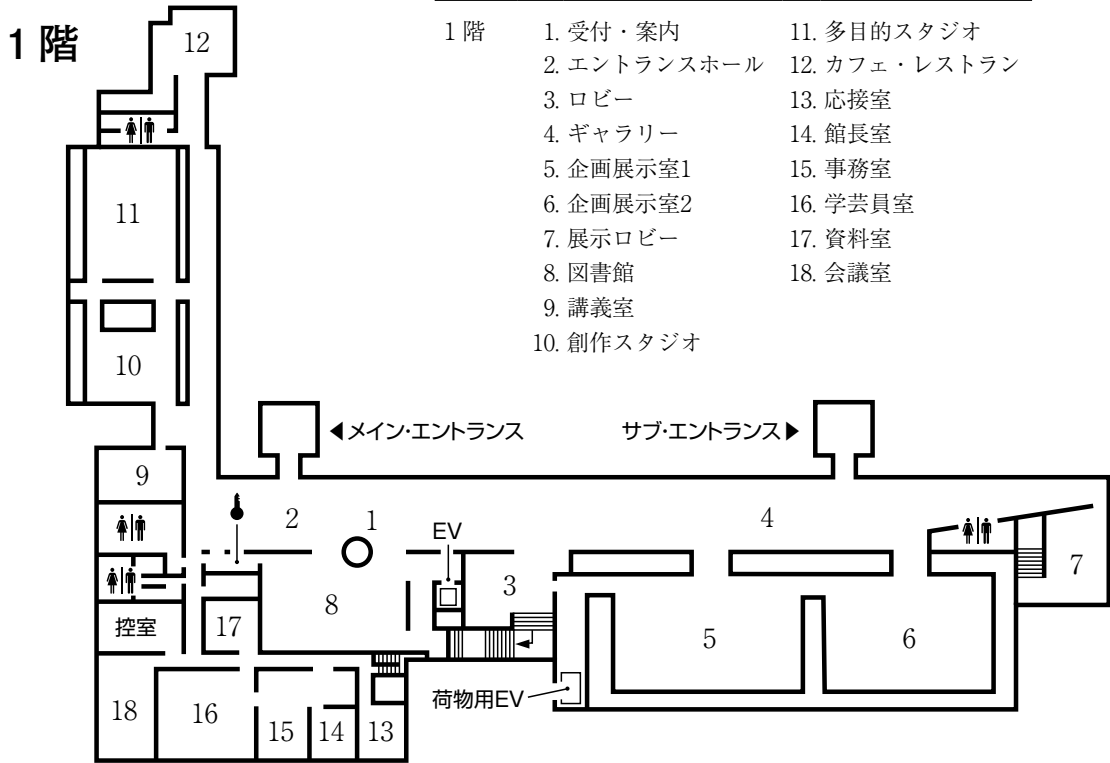
荷物用

3,000 Kg、油圧加速制御

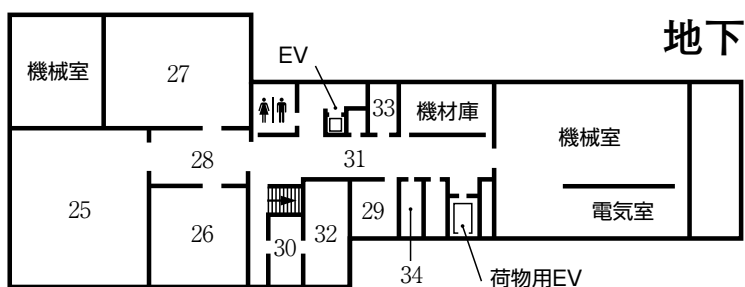
テーブルリフター

2,000 Kg

■平面図・面積表



- 地下
- 25. 収蔵庫1
 - 26. 収蔵庫2
 - 27. 収蔵庫3
 - 28. 収蔵庫前室
 - 29. 修復室
 - 30. 中央監視室
 - 31. 荷解場
 - 32. トラックヤード
 - 33. くん蒸室
 - 34. 清掃員室



部門名	面積	階	室名	面積
展示部門	2,330.38 m ²	2	常設展示室1~4	932.51 m ²
		1	企画展示室1~2、展示ロビー	1,333.24 m ²
		B1・1	器材庫、エレベーター前室	64.63 m ²
収蔵部門	1,040.28 m ²	B1	収蔵庫1~3	618.35 m ²
		B1	収蔵庫前室	61.48 m ²
		B1	器材庫	69.25 m ²
		B1	荷解場	238.71 m ²
		B1	くん蒸室	19.10 m ²
		B1	修復室	33.39 m ²
教育普及部門	570.34 m ²	1	多目的スタジオ	196.42 m ²
		1	創作スタジオ	122.40 m ²
		1	講義室	56.87 m ²
		1	図書室(ビデオコーナーを含む)	194.65 m ²
研究研修部門	117.45 m ²	1	学芸員室	117.45 m ²
管理部門	852.19 m ²	B1	中央監視室	24.22 m ²
		B1	機械室	520.43 m ²
		1	事務室	79.85 m ²
		1	館長室	32.48 m ²
		1	会議室	73.92 m ²
		1	応接室	38.10 m ²
		B1・1	控室	54.52 m ²
		1	資料室	28.67 m ²
サービス部門	702.62 m ²	1	エントランスホール	222.77 m ²
		1	ギャラリー	344.72 m ²
		1	ロッカールーム	16.69 m ²
		1	カフェ・レストラン	118.44 m ²
その他	1,235.11 m ²	B1・1・2	廊下、階段、便所、その他	1,235.11 m ²
計	6,848.37 m ²			6,848.37 m ²

4) 利用案内

■所在地

〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地130-2

Tel : 024-956-2200 Fax : 024-956-2350

E-mail : bijutsukan@city.koriyama.lg.jp

ホームページ

<https://www.city.koriyama.lg.jp/bijutsukan/>



■開館時間

午前9時30分～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

■休館日

毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)

■交通案内

●郡山駅から美術館まで約4km

●乗用車 駐車場(123台、バス8台収容・料金は無料)

●バス

郡山駅前5番のりばから『美術館経由東部ニュータウン行』乗車、「郡山市美術館」下車すぐ。(所要時間10分)



■観覧料

	常設展		企画展	
	個人	団体 (20名以上)	個人	団体 (20名以上)
一般	200円	150円	規模・内容等に応じて、その都度定めた額	
高大生	100円	70円		
65歳以上	無料			
中学生以下	無料			
障害者手帳をお持ちの方	無料(手帳を提示)			

郡山市立美術館年報

平成30年度

令和元年9月27日発行

発行 郡山市立美術館

〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地130-2
TEL 024-956-2200 FAX 024-956-2350